取扱説明書

DVD オーディオ / ビデオプレーヤー

型名 **XV-A77**

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。

再生が可能なリージョン番号表示の例:

ディスクのジャケットもご参照ください。

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

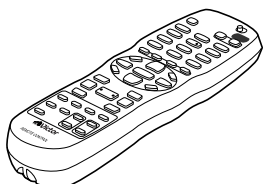
⚠ ご使用の前に

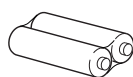
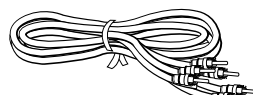
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GNT0036-020B

もくじ

付属品をご確認ください

■ 本機をお使いになる前に、同梱の付属品をお確かめください。

リモコン(RM-SXV049D：1個)

単3形乾電池(2本)(リモコン動作確認用)

オーディオ/ビデオコード[白赤黄](1本)

オーディオコード[白赤](2本)

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

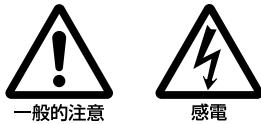
⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

分解禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

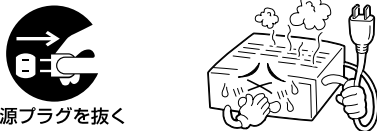
ぬれ手禁止

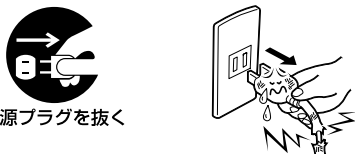
水ぬれ禁止

水場での使用禁止

⚠警告

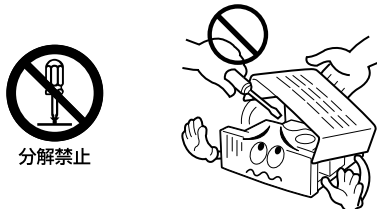
万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

• 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

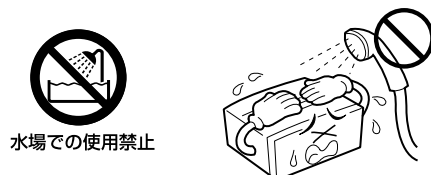
• 内部に水や異物が入ってしまったとき
• 落としたり、破損したとき
• 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

本機の中に物を入れない。

通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。
• 電源コードを加工しない
• 電源コードを無理に曲げない
• 電源コードをねじらない
• 電源コードを引っ張らない
• 電源コードを熱器具に近づけない
• 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

⚠警告

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

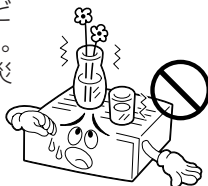
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

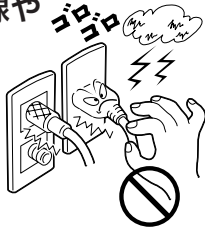
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離してください

設置場所に注意する。

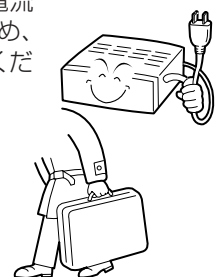
次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

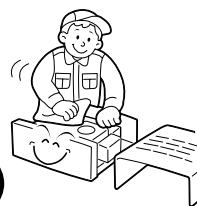
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に、接続したテレビやアンプの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

設置についてのご注意

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所
- バランスの悪い不安定な場所
- 直射日光が当たる所
- 熱器具の近く
- 極端に寒い所
- 寒暖の差が激しい所
- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ご注意

・**本機の使用環境温度は5゜C～35゜Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。**

露がついたときは

次のようなとき、本機内部のレンズに露（水滴）が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気が多い所に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1 ～2 時間待ってから、ご使用ください。

本体のお手入れ

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとで**からぶき**してください。

ご注意

・**シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。**

ディスクについて

本機で再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスクの種類とマーク	詳細
DVDビデオ DVD VIDEO	DVDビデオフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-R/RWディスクを含む
DVDオーディオ DVD AUDIO	—
スーパービデオCD/ビデオCD Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO COMPACT disc SUPER VIDEO	ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**CD-R/RWディスクを含む
オーディオCD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	オーディオCDフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**CD-R/RWディスクを含む

次のディスクも再生できます。

- 9.4GB/4.7GB(12センチ)と2.8GB(8センチ)
  - カートリッジなしで、ビデオレコーディング規格ver1.1で記録されたDVD-RAMディスク
  - カートリッジ付で取出しができるもの(**Type2、4**)で、ビデオレコーディング規格ver1.1で記録されたDVD-RAMディスク
- VR(ビデオレコーディング)フォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-RW(ver1.1)ディスク
- ISO9660フォーマット(MP3ファイルなど音楽･映像ファイルを再生するとき)で記録されたCD-R/RWディスク

ご注意

- 本機は、VRフォーマットのディスクはオリジナル再生のみ対応しています。プレイリスト再生はできません。
- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCD など)は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。
- DVD-RAM、DVD-RW(VRフォーマット)では、プログラムのつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。
- パソコンなどで作成されたビデオレコーディング規格に準拠していないDVD-RAMディスクは、再生できません。
- 一世代のみ録画することを許可されたCPRM*対応のDVD-RAM、DVD-RWは再生できません。
  - * CPRMとは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。
- TYPE2、4のDVD-RAMディスクを再生するときはカートリッジからディスクを取り出してトレイに置いてください(➡ **16**ページ)。
  ディスクにキズ、汚れをつけないよう取扱いにご注意ください。使用後はカートリッジに収納してください。(詳細はディスクに付属の説明書などをご覧ください)

お知らせ

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
  本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
  このようなときは、テレビ画面に「🛇」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
  CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PALなど)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

ご注意

- NTSC方式以外のテレビ方式(PALなど)で収録されたディスクを再生するときは、正常なプログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。

デジタル音声フォーマットについて

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声フォーマットは、次の5種類です。

- ドルビーデジタル(Dolby Digital)
- DTS
- リニアPCM
- MPEG(Moving Picture Expert Group)オーディオ
- MLP(Meridian Lossless Packing)

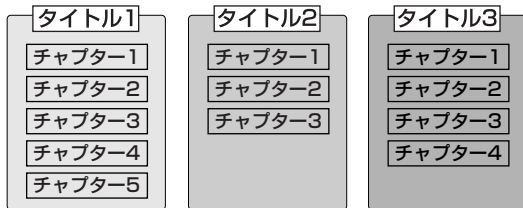
各フォーマットについては、〔用語解説(➡ **57**～**58**ページ)〕をご覧ください。

お知らせ

- デジタル音声フォーマット、および本機と接続するデジタル音声機器に応じて、初期設定の「音声メニュー」で「デジタルOUT」の設定を変更する必要があります(➡ **44**ページ)。

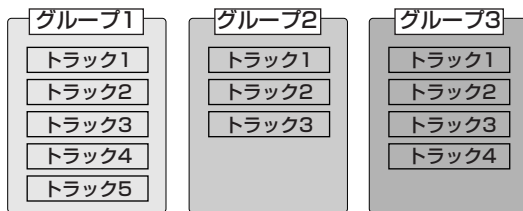
ディスクの構成について

● DVDビデオ

多くのDVDビデオは、**タイトルとチャプター(章)**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのタイトルまたはチャプターを選んで再生することができます。

お知らせ

- ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

● DVDオーディオ

多くのDVDオーディオは、**グループ**と**トラック**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのグループまたはトラックを選んで再生することができます。

お知らせ

- DVDオーディオにはキーナンバー(暗証番号)を入力すると再生ができる「ボーナスグループ」と呼ばれるグループが収録されているものもあります。通常このグループの内容は事前に公表されていません。ボーナスグループの再生について詳しくは**26**ページをご覧ください。

● オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD

これらのディスクは、**トラック**と呼ばれる番号付きの項目から構成されています。お好みのトラック番号を選んで再生することができます。

お知らせ

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。
  本機は「インデックス」による頭出し機能には対応していません。

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

- DVD-ROM
- DVD-RAM*[1] (2.6GB/5.2GB 及びカートリッジTYPE1のDVD-RAMディスクは再生できません)
- DVD-RW(ver.1.0)*[2]
- CD-ROM
- SACD
- フォトCD

*[1] カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAMはご使用になれません。
*[2] VRフォーマットで記録したディスクに限ります。

ご注意

- **本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。**

CDロゴマーク

ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

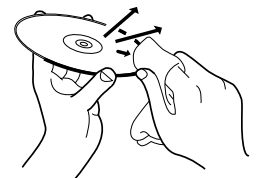
ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽くふいてください。ディスクの円周方向にはふかないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

接続と準備

本機をテレビやアンプなどと接続します。

接続にあたってのご注意

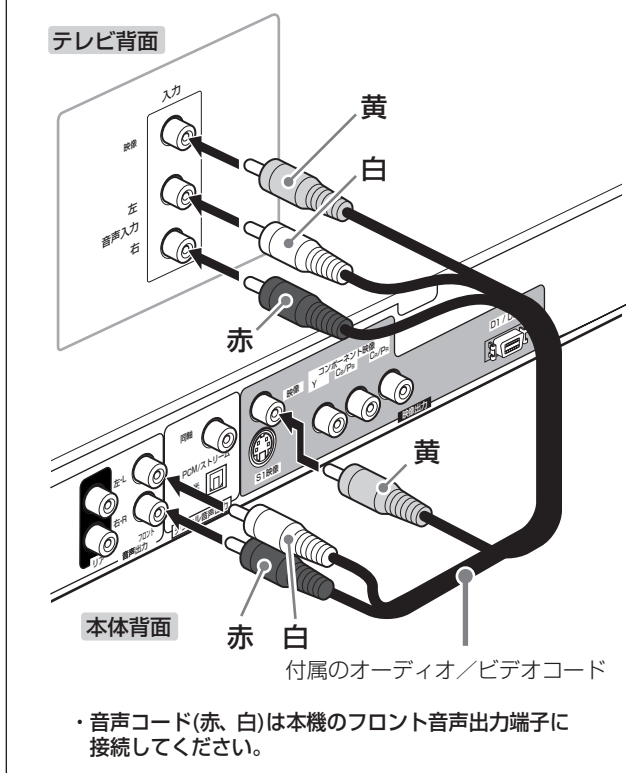
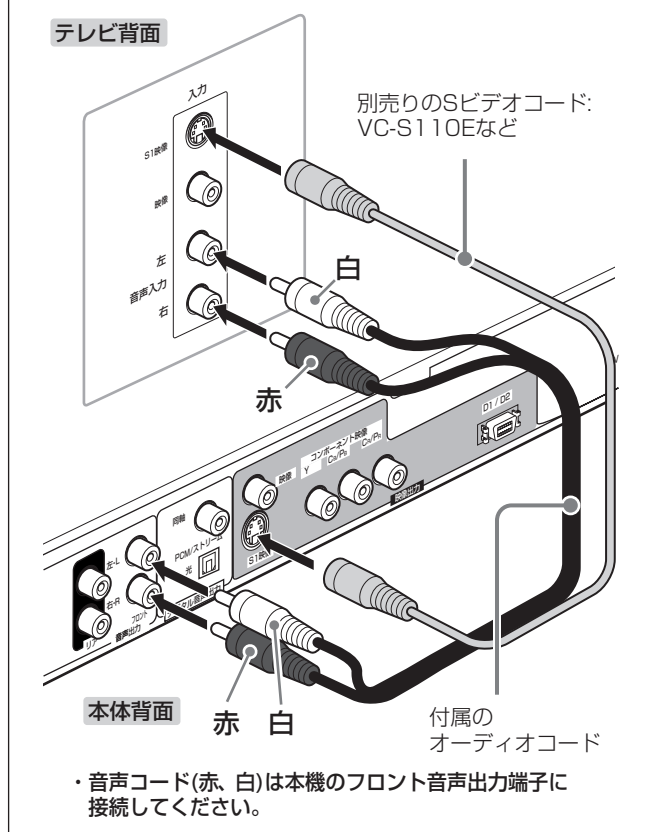
- **すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。**
- **各プラグやコネクターはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音（ノイズ）や音が出ないなどの原因となります。**
- **本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。**
  また、ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだときも、再生中に画像が乱れる場合があります。

お知らせ

- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」（➡ **51**ページ）をご覧ください。
- テレビ（またはモニター）の映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りの変換アダプター（VZ-90）を使用してください。

テレビとつなぐ

テレビの入力端子の種類によって、次の4通りの接続方法があります。

A 映像入力端子付きテレビと接続する

テレビ背面

本体背面

付属のオーディオ／ビデオコード

- **音声コード（赤、白）は本機のフロント音声出力端子に接続してください。**

接続のあとで

- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します（➡ 12ページ）。
  「**アナログOUT**」項目を「**2ch ステレオ**」に設定します（➡ 12ページ）。
- **スキャンモード**：「インターレース」に設定します（➡ 14ページ）。

B S映像入力端子付きテレビと接続する

テレビ背面

本体背面

赤　白

付属のオーディオコード

- **音声コード（赤、白）は本機のフロント音声出力端子に接続してください。**

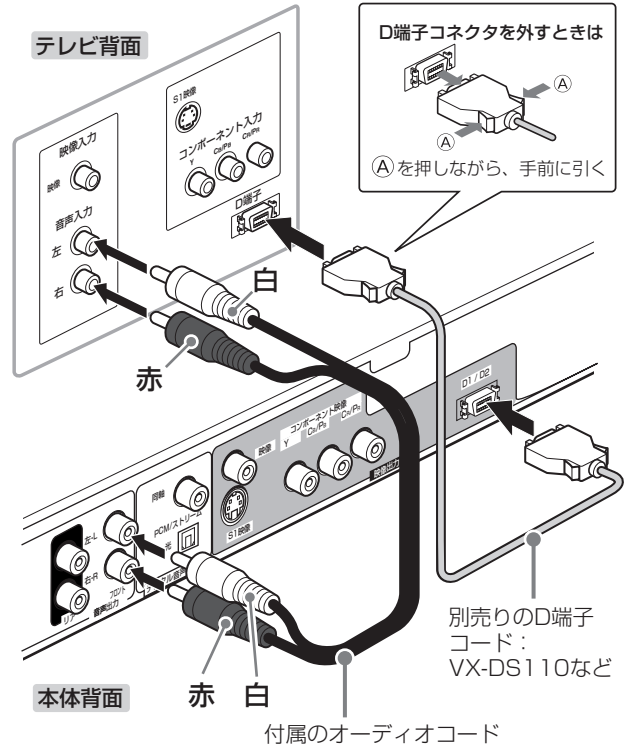
接続のあとで

- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します（➡ 12ページ）。
  「**アナログOUT**」項目を「**2ch ステレオ**」に設定します（➡ 12ページ）。
- **スキャンモード**：「インターレース」に設定します（➡ 14ページ）。

S映像端子について

- **S映像は、映像を輝度信号（Y）と色信号（C）に分けた映像信号です。映像入力端子に接続した場合（黄色のプラグ）より、色のにじみの少ない鮮明な映像がお楽しみいただけます。**
- **本機のS映像出力端子は、S1映像信号に対応しています。S1映像信号は、S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。**

C コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する

別売りのDVD用ビデオコード：VX-D110Eなど

テレビ背面

緑 青 白 赤 赤 赤 緑 青 赤 白

本体背面

付属のオーディオコード

・音声コード(赤、白)は本機のフロント音声出力端子に接続してください。

接続のあとで

・簡単セットアップ：「TVタイプ」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します(➡ 12ページ)。
「アナログOUT」項目を「2ch ステレオ」に設定します(➡ 12ページ)。

・スキャンモード　：**テレビがプログレッシブ対応**
「プログレッシブ」に設定します(➡ 14ページ)。
テレビがプログレッシブ対応ではない
「インターレース」に設定します(➡ 14ページ)。

ご注意

・プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビがプログレッシブスキャン方式に対応している必要があります。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

コンポーネント映像について

・コンポーネント映像は、映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号です。色の発色が良く、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。

D D端子付きテレビと接続する

・音声コード(赤、白)は本機のフロント音声出力端子に接続してください。

接続のあとで

・簡単セットアップ：「TVタイプ」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します(➡ 12ページ)。
「アナログOUT」項目を「2ch ステレオ」に設定します(➡ 12ページ)。

・スキャンモード　：**テレビがプログレッシブ対応**
「プログレッシブ」に設定します(➡ 14ページ)。
テレビがプログレッシブ対応ではない
「インターレース」に設定します(➡ 14ページ)。

ご注意

・プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビのD端子がD2信号に対応している必要があります。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

D端子について

・D端子は、コンポーネント映像端子と同じ信号(映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号)を扱いますが、コード1本で接続でき、送られる映像の信号フォーマットや縦横比(アスペクト比)の検出信号をもっているのが特長です。色の発色が良く、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。
・本機のD端子(D1/D2)は、D2信号まで対応しています。

アンプとつなぐ

アンプやデコーダーなどとつないで、より本格的な音声を楽しむことができます。
ここでは、音声のアナログ接続とデジタル接続の説明をします。音声の接続に加えて、AVアンプなどに映像接続をするときは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

本機は、DVDオーディオのリニアPCMマルチチャンネルで収録されたソフトの再生に対応しています。また、ドルビーデジタルとDTSデコーダーを内蔵しているので、サラウンドシステムを構成する際に外部デコーダーは必要ありません。本機の5．1ｃｈ出力端子とアンプの5.1ch入力端子を接続すると、本格的なサラウンド再生がお楽しみいただけます。

A アナログ音声接続をする

アンプなどの背面

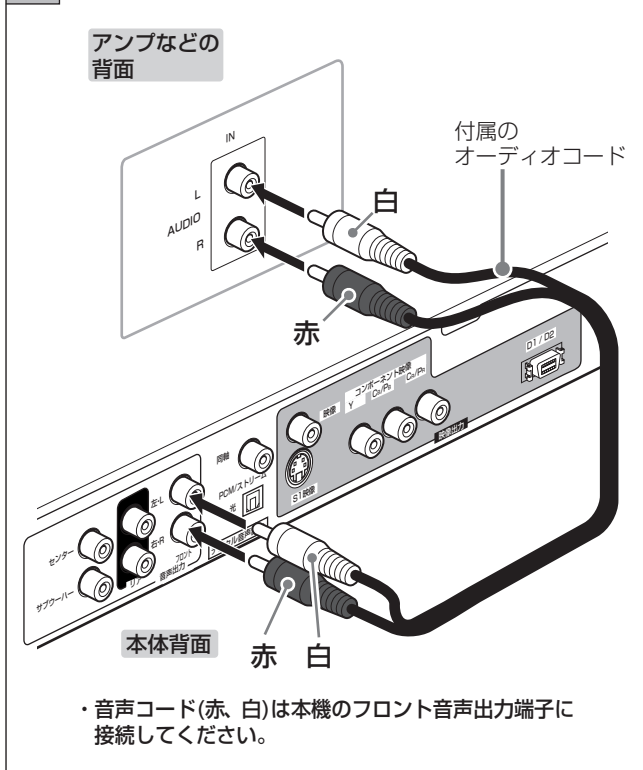
付属のオーディオコード

白

赤

本体背面

赤 白

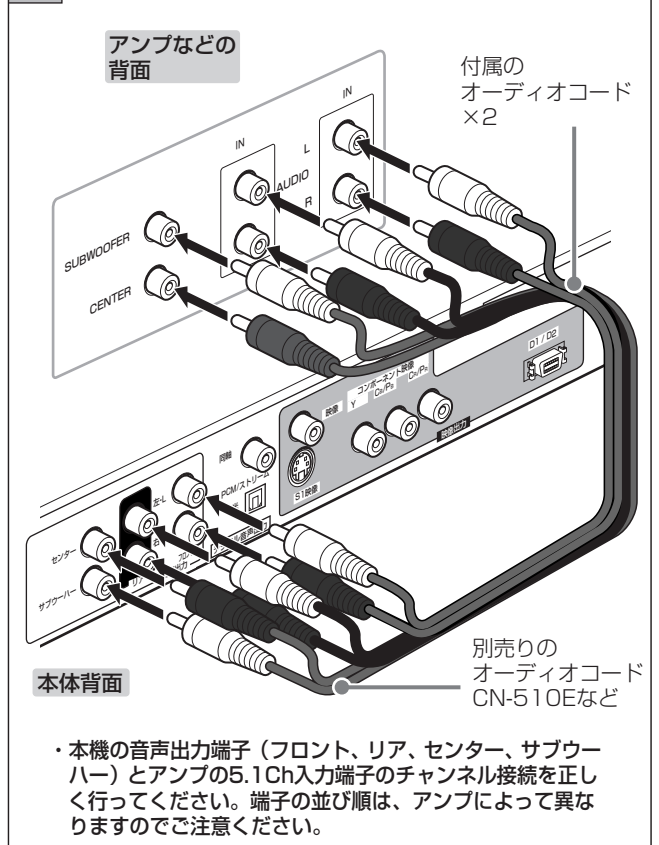
・音声コード(赤、白)は本機のフロント音声出力端子に接続してください。

接続のあとで

・簡単セットアップ：ドルビープロロジックデコーダーを搭載している機器のとき
「アナログOUT」項目を、「2ch ドルビーサラウンド」に設定します(➡ 12ページ)。
ドルビープロロジックデコーダーを搭載していない機器のとき
「アナログOUT」項目を「2ch ステレオ」に設定します(➡ 12ページ)。

ドルビーサラウンドについて

・ドルビーサラウンドをお楽しみ頂くためには、ドルビーサラウンド信号を含むDVDソフトなどと専用のデコーダーが必要です。
本機は、ドルビーサラウンド信号をそのまま出力するか、アナログ2チャンネル信号として出力するかを選ぶことができます。

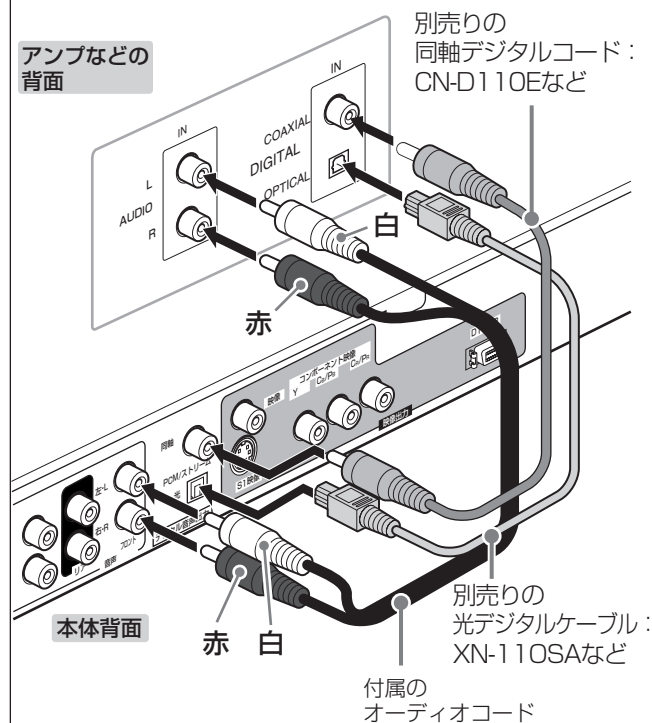
B 5.1Ch入力端子付きのアンプと接続する

・本機の音声出力端子（フロント、リア、センター、サブウーハー）とアンプの5.1Ch入力端子のチャンネル接続を正しく行ってください。端子の並び順は、アンプによって異なりますのでご注意ください。

接続のあとで

・簡単セットアップ：「アナログOUT」項目を「マルチチャンネル」に設定します(➡ 12ページ)。
・初期設定メニュー：アンプに接続したスピーカーに合わせて、「スピーカー設定メニュー」の設定をします(➡ 45ページ)。

デジタル音声接続をすると、本機で再生した音声をデジタル信号のまま外部機器へ出力することができます。

・アナログ音声接続も同時に行ってください。音声の収録方式によっては、デジタル信号が出力されないことがあります。
・**デジタル音声での接続は、光デジタルケーブルか同軸デジタルコードのどちらか一方だけを接続してください。**

C デジタル音声接続をする

光端子には保護カバーが付いています。ケーブルをつなぐときは、プラグで保護カバーを押しながら内部のジャックに差し込んでください。

接続のあとで

・**簡単セットアップ：**項目「**デジタルOUT**」で接続した機器の搭載デコーダーの種類により設定します(➡ 12ページ)。

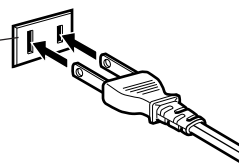
デジタル音声のデコーダーについて

・デジタルマルチチャンネル音声では専用のデコーダーを使ってマルチチャンネルサラウンドがお楽しみになれます。本機のデジタル出力設定について詳しくは「簡単セットアップを行う」(➡ 12ページ)や音声メニューの「デジタルOUT」(➡ 44ページ)をご覧ください。

ご注意

・本機のデジタル音声出力端子に、DTSデコーダー搭載以外のアンプを接続しているときは、DTSのオーディオCDを再生しないでください。ノイズによりスピーカーを破損する恐れがあります。

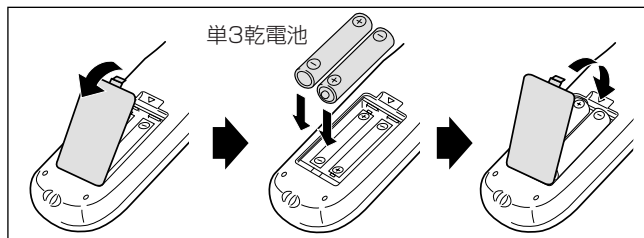
電源コードをつなぐ

接続がすべて終わってから、本機の電源コードを家庭用コンセント(交流100 V)にしっかりと差し込んでください。

電源コードを接続すると、本体のSTANDBYランプが赤く点灯します。

ご注意

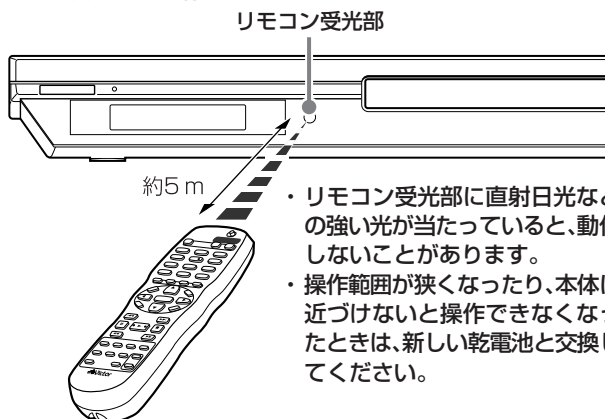
・電源コードはテレビやビデオデッキ、アンテナ線などから離してください。接近していると雑音が発生したり、映像が乱れたりすることがあります。
・濡れた手で電源コードに触らないでください。
・電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。

リモコンの準備をする

下図のように単3形の乾電池を入れます。
電池の極性(＋、－)を間違えないように入れてください。

ご注意

・付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
・一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
・充電式電池は使わないでください。
・長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。液もれなどの原因になります。
・リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

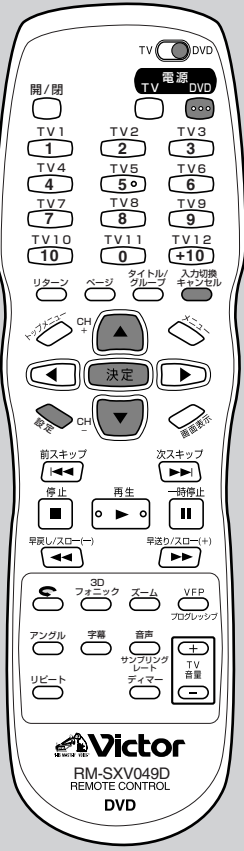
リモコンの操作範囲について

・リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5 mですが、斜めから操作すると短くなります。

・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
・操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

本機の再生条件などを設定する

操作の前に

- 以下、本書では主にリモコンからの操作を説明します。リモコンと同じマークのある本体のボタンでも、同様の操作をすることができます。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- 本機を操作するときは、TV-DVD切換スイッチを「DVD」側にします。

簡単セットアップを行う

「簡単セットアップ」画面で、次の再生条件を設定します。

- **テレビ画面のタイプ**
- **アナログ音声出力の種類**
- **デジタル音声出力の種類**

これらの設定内容は、あとから初期設定画面で設定、変更することができます(➡ **41**ページ)。

❶ 電源 を押して電源を「入」にする

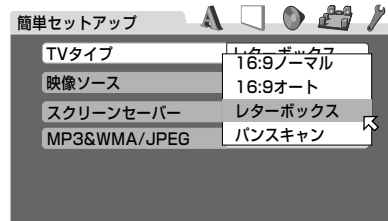
本体のSTANDBYランプが赤から緑に変わります。
テレビ画面にオープニング画面が表示されます。

オープニング画面

お買い上げのあと最初に電源を「入」にしたときは、オープニング画面に次のメッセージが表示されます。

画面と音声の基本設定を簡単セットアップで行いますか？ 行うー決定ボタン　　行わないーキャンセルボタン

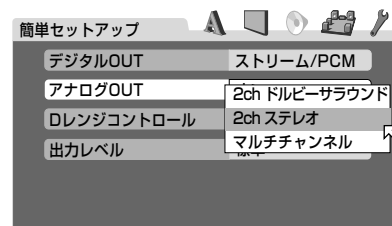
❷ 決定 を押す

「簡単セットアップ」画面が表示され、「TVタイプ」のプルダウンメニューが表示されます。

❸ ▲/▼ を押してテレビのタイプを選ぶ

- **通常のテレビと接続しているとき**
  「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。
- **ワイドテレビと接続しているとき**
  「16:9オート」または「16:9ノーマル」を選びます。

詳しくは、43ページの「映像メニュー」の「TVタイプ」をご覧ください。

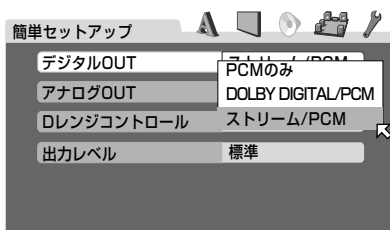
❹ 決定 を押す

テレビのタイプが設定され、次の設定画面で「アナログOUT」のプルダウンメニューが表示されます。

❺ ▲/▼ を押してアナログ音声出力のタイプを選ぶ

- **テレビまたはステレオアンプと接続しているとき**
  「2ch ステレオ」を選びます。
- **5.1ch入力端子付きアンプと接続しているとき**
  「マルチチャンネル」を選びます。
  簡単セットアップの後で、「初期設定メニュー」の「スピーカーメニュー」の設定を行ってください。
- **ドルビープロロジックデコーダー付きアンプと接続しているとき**
  「2ch ドルビーサラウンド」を選びます。

詳しくは、44ページの「音声メニュー」の「アナログOUT」をご覧ください。

❻ 決定 を押す

アナログ音声出力のタイプが設定され、次の設定画面で「デジタルOUT」のプルダウンメニューが表示されます。

❼ ▲/▼ を押してデジタル音声出力のタイプを選ぶ

- **外部機器に専用デコーダーがないとき**
  「PCMのみ」を選びます。
- **本機のドルビーデジタルデコーダーを使わずに、外部機器でドルビーデジタル信号をデコードするとき**
  「DOLBY DIGITAL/PCM」を選びます。DTS信号、MPEG信号は本機でデコードされPCM音声で出力されます。
- **再生しているソフトのデジタル音声をそのまま出力し外部機器ですべての信号をデコードをするとき**
  「ストリーム/PCM」を選びます。

専用デコーダーの有無については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

詳しくは、44ページの「音声メニュー」の「デジタルOUT」をご覧ください。

❽ 決定 を押す

簡単セットアップが終了し、オープニング画面が表示されます。

もう一度「簡単セットアップ」画面を表示させるには
[設定]を2秒間以上押し続けます。

電源を「切」にするには
[DVD電源]を押すと、電源が「切」になります。
- 本体の[⏻/I STANDBY/ON]を押しても電源を「入/切」できます。

オープニング画面について

- **オープニング画面には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。**

「NOW READING」	：ディスク情報の読み取り中です。しばらくお待ちください。
「リージョンコードエラー!」	：リージョンコードが違うため、このDVDビデオは再生できません。
「OPEN」	：ディスクトレイが開いています。
「CLOSE」	：ディスクトレイを閉じています。
「NO DISC」	：ディスクが入っていません。

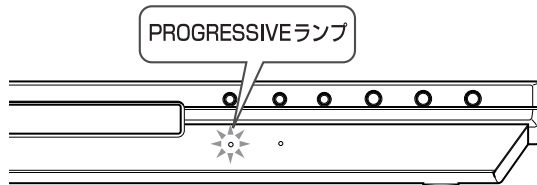
プログレッシブ対応テレビと接続したときには

プログレッシブスキャン対応テレビと本機をコンポーネント映像端子やD映像端子で接続したときは、スキャンモードをプログレッシブ方式に切り換えます。
お買い上げ時は「インターレース」に設定されています。

<停止中に>

[VFP プログレッシブ]を1秒以上押す

スキャンモードがプログレッシブ方式に切り換わり、本体のPROGRESSIVEランプが点灯します。

- **スキャンモードがプログレッシブ方式のときは、コンポーネント映像端子とD映像以外の端子からは、映像が出力されません。**

インターレース方式に戻すには
[VFP(プログレッシブ)]を1秒以上押します。
本体のPROGRESSIVEランプが消灯します。

PROGRESSIVEランプの点灯について

本機のスキャンモードがプログレッシブ方式のとき、本機の映像ソースの設定およびディスクの収録素材(➡ 43ページ)によって、PROGRESSIVEランプの色が次のように変わります。

映像ソースの設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
ビデオ(ノーマル)	赤	赤
ビデオ(アクティブ)	赤	赤
フィルム	緑	緑
オート	緑	赤

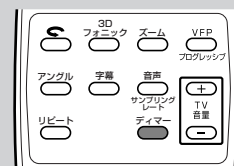
- **停止中は、常に赤く点灯します。**
- **本機の状態やディスクの状態によっては、正しく点灯しないこともあります。**

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVD ビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。
ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

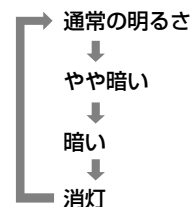
お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
  本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」にしてお使いください。
  ビクター製のテレビでは、HD-32LS3やAV-32AD3などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

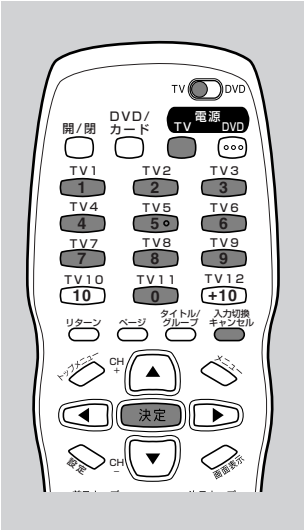
表示窓の明るさを変更する

本体表示窓の明るさを調節することができます。

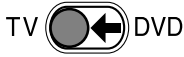
<いつでも>

[ディマー]を押す

- ボタンを押すごとに、本体表示窓とトレイ部の明るさが4段階に変化します。

リモコンの設定をする

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
他メーカーのテレビを操作する場合は、そのメーカーに対応したコードを設定する必要があります。
・**ビクター製のテレビは、お買い上げ時のままで操作することができます。**

テレビのメーカーコードを設定する

❶ **リモコンのTV-DVD切換スイッチを「TV」側にする**

TV DVD

❷ **入力切換キャンセル を手順❹が終わるまで押し続ける**

❸ **数字ボタン(1〜9、0)を押してコード番号を入力する**

例:シャープ「10」の場合、[1] ➡ [0]と押す

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
アイワ	14
NEC	12
サンヨー	08、09
シャープ	10
ソニー	05

メーカー名	コード番号
東芝	07
パイオニア	11
日立	06
フナイ	13、15、16
松下	02、03
三菱	04

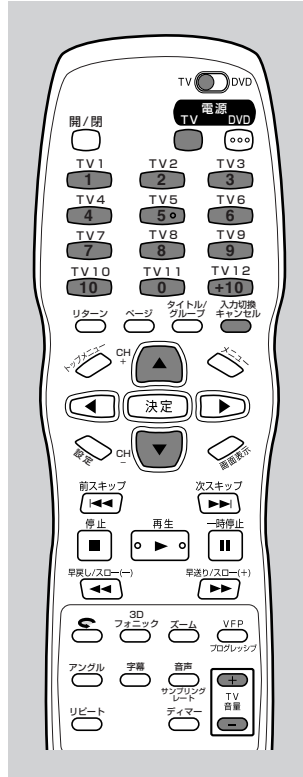
❹ **決定 を押す**

このあと、[**入力切換(キャンセル)**]から指を離します。
これで、リモコンのメーカーコードの変更は終わりです。

❺ **電源 TV DVD を押してテレビの動作を確認する**

ボタンを押すごとに、テレビの電源が「入/切」できれば、リモコンのメーカーコードは正常に変更されました。

もし、テレビの電源が「入/切」しないときは、もう一度最初からやり直してください。
・複数のコード番号があるメーカーについては、別の番号も入力してみてください。

テレビを操作する

ご注意

・**テレビの操作をするときは、TV-DVD切換スイッチを「TV」側にします。**
・**テレビの操作が終わったら、「DVD」側に戻してください。**

❶ **リモコンのTV-DVD切換スイッチを「TV」側にする**

テレビの操作ができるようになります。

❷ **テレビを操作する**

次のボタンを使ってテレビを操作します。

ボタン	機能
電源 TV DVD	テレビの電源を「入/切」します
+ TV音量 −	音量を調節します リモコンのTV-DVD切換スイッチが「TV」側でないときでも使えます
CH+ / CH−	チャンネルを変えます 数字ボタン(TV1〜TV12)も使えます
入力切換キャンセル	テレビの入力をビデオ入力に切り換えます

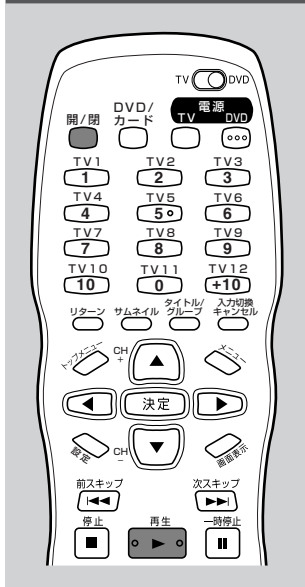
❸ **テレビの操作が終わったら、TV-DVD切換スイッチを「DVD」側に戻す**

本機の操作ができるようになります。

DVDプレーヤーの基本操作

本機では様々なディスク操作をすることができます。操作の中には、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。本書では、機能ごとに次のマークを示し、説明中の操作がどの種類のディスクでできるのかお知らせします。

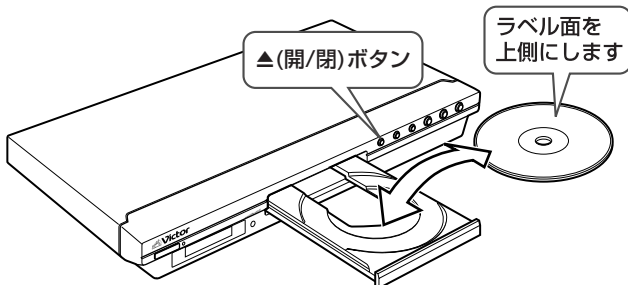
例：オーディオCDでは操作できないとき

再生する

❶ 開/閉 または本体の⏏(開/閉)を押す

ディスクトレイが出てきます。

・電源が「切」のときは、電源が「入」になります。

❷ ディスクをディスクトレイに置く

8センチディスクは内側の凹部に置きます。

・両面ディスクのときは、再生したい面を下にして、ディスクトレイに置きます。

❸ 開/閉 または本体の⏏(開/閉)を押してディスクトレイを閉める

❹ 再生 を押す

再生が始まります。

・ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると再生が始まるものもあります。

お知らせ

・DVDオーディオのディスクを読み取ると、本機のDVD AUDIOランプが点灯します。

メニュー画面が表示されたときは

ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面から再生を始めることができます（➡ **20**ページ）。

ご注意

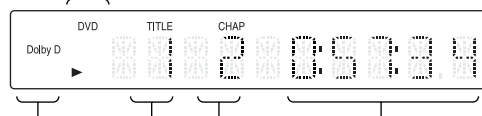
・「再生できないディスク」（➡ 7ページ）は使わないでください。

・ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉じると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因になります。

再生中の本体表示窓の表示について

・ディスクの再生中に、本体表示窓には再生中のタイトル、チャプター、トラック、再生経過時間などのディスク情報が表示されます。

例：DVDビデオを再生したとき

ディスクの種類

音声信号形式　タイトル番号　チャプター番号　再生経過時間

例：DVDオーディオを再生したとき

ディスクの種類

音声信号形式　グループ番号　トラック番号　再生経過時間

・DVDオーディオの音声がMLP形式で収録されている場合、音声信号形式の種類は表示されません。

例：オーディオCDを再生したとき

ディスクの種類

音声信号形式　トラック番号　再生経過時間

・ステータスバーを表示させて、ディスク情報を確認することもできます（➡ **27**ページ）。

再生を停止する

<再生中に>

停止[■] を押す

再生が停止します。

- オーディオCD以外のディスクでは、リジューム設定(➡ **45**ページ)が「オン」または「ディスクリジューム」のとき、テレビ画面上に「RESUME STOP」と一時的に表示され、停止位置が記憶されます(本体表示窓には「−−−−RESUME」(DVDビデオ/DVDオーディオのとき)または「−−RESUME」(VRフォーマットのDVD/ビデオCD/CDのとき)と表示されます)。
このとき、**リジューム再生**をすることができます。

停止位置の記憶について

停止位置は再生中に**[停止(■)]**を押すごとに記憶されます。記憶された停止位置は電源を「切」にしても残りますが、停止中に**[停止(■)]**を押すと取り消されます。
また、リジューム設定(➡ **45**ページ)によっては、ディスクトレイを開けると、停止位置の記憶が取り消されます。

- **リジューム設定が「オン」のとき:**
ディスクトレイを開けると、停止位置の記憶は取り消されます。
- **リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき:**
ディスクを取り換えても、停止位置の記憶は残ります。さらに、停止位置はディスク30枚分まで記憶されます。30枚を超えて記憶させたときは、古い順に取り消されます。

リジューム再生をする

停止位置が記憶されているとき、その続きから再生を始めることができます。

<本体表示窓に「RESUME」が表示されているとき>

再生[►] を押す

記憶された位置から続きが再生されます。電源が「切」のときは、電源が「入」になり再生が始まります。

- リジューム設定が「オン」のときは、電源を「入」にしてから[再生(►)]を押すと停止位置の記憶が取り消され、リジューム再生できません。

ディスクのはじめから再生するときは

停止中に**[停止(■)]**を押して、位置の記憶を取り消して**[再生(►)]**を押します。

お知らせ

- オーディオCDでは、リジューム再生は働きません。また、それ以外のディスクでも働かないこともあります。
- ビデオCDで、プログラム再生またはランダム再生のモードにすると、停止位置の記憶は取り消されます。また、このときリジューム機能は働きません。
- DVDビデオのメニュー画面表示中やビデオCDのPBCメニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生をするときは、再生位置が記憶された面を下にしてディストレイに置いてください。
- PBC対応のビデオCDや、記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 停止位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき、リジューム設定を「オフ」にしても、「ディスクリジューム」に戻すと、前回記憶させた位置から再生できるようになります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⊘ :本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

- ▶ :再生を開始すると表示されます。
- ■ :停止すると表示されます。
- ❚❚ :一時停止(➡ **19**ページ)すると表示されます。
- ◀◀ ▶▶ :早送り/早戻し再生(➡ **18**ページ)をすると表示されます。
- ◀❚ ❚▶ :スローモーション再生(➡ **19**ページ)をすると表示されます。
- :複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(➡ **21**ページ)。
- :複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(➡ **21**ページ)。
- :複数のアングルが収録されている場面で表示されます(➡ **22**ページ)。

- **オンスクリーンガイドは表示しないようにすることもできます(➡ 45ページ)。**

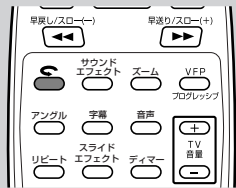
スクリーンセーバーについて

長い時間、テレビ画面に静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。
DVD設定メニュー画面表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

- **JPEGの再生時には、静止画が表示されてもスクリーンセーバー機能は働きません。**

スクリーンセーバー機能は「映像メニュー」(➡ 43ページ)で設定します。

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

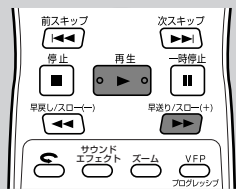
今見たシーンをもう一度見る [チョット見バック]

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます。

<再生中に>

を押す

約10秒前に戻ってから再生が始まります。

・DVDビデオによっては、働かない場合があります。また、再生するタイトルが切り換わった直後など、前のタイトルに戻ることはできません。

1.5倍速早見再生をする

音声を聞きながら早送り再生をします。

<再生中に>

早送り/スロー(+) を1回押す

1.5倍速早見再生が始まります。

・早戻し再生から1.5倍速早見再生にする場合は、一度[再生(▶)]を押してから操作してください。

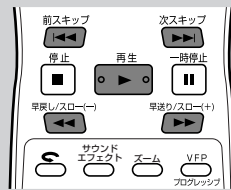
通常の再生に戻すには

[再生(▶)]を押します。

お知らせ

・DVDビデオでは、字幕も出ます。
・デジタル音声出力はリニアPCM2chになります。
・ディスクによっては、音声や音程が変わる場合があります。

早送り/早戻し再生をする

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパー ビデオCD

早送り/早戻し1

<再生中に>

前スキップ または 次スキップ を押し続ける

[次スキップ(▶▶|)]を押し続けている間、5倍速の早送り再生になります。

[前スキップ(|◀◀)]を押し続けている間、5倍速の早戻し再生になります。

ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し2(リモコンのみ)

<再生中に>

早戻し/スロー(ー) または 早送り/スロー(+) を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが1.5倍から60倍まで次のように変化します。

1.5 → 5 → 20 → 60

通常の再生に戻すには

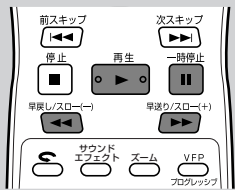
[再生(▶)]を押します。

お知らせ

・早送り(1.5倍速早見再生は除く)/早戻し再生中は、音声が出ません。オーディオCDでは、音声が断続的に聞こえます。
・オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

▶▶ x20　例:早送り20倍のとき

◀◀ x5　例:早戻し5倍のとき

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生する[スロー]

一時停止をする

<再生中に>

[一時停止] を押す

再生が一時停止し、本体表示窓の「II」が点灯します。

画像を1コマずつ送る（コマ送り）

<一時停止中に>

[一時停止] を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

スローモーション再生する

<一時停止中に>

[早戻し/スロー(−)] または [早送り/スロー(+)] を押す

[スロー(＋)(▶▶)]を押すと順方向のスローモーション再生になります。

[スロー(−)(◀◀)]を押すと逆方向のスローモーション再生になります。

・押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

$\frac{1}{32} \rightarrow \frac{1}{16} \rightarrow \frac{1}{4} \rightarrow \frac{1}{2}$

通常の再生に戻すには

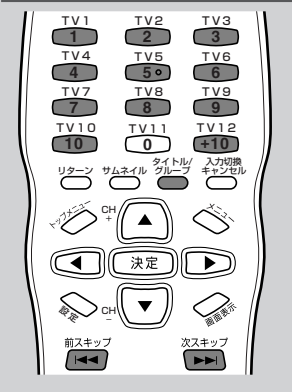
[再生(▶)]を押します。

お知らせ

・スローモーション再生中は、音声が出ません。
・ビデオCD/スーパービデオCDでは逆方向のスローモーション再生はできません。
・オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

I▶ 1/2
例:スローモーション順方向1/2のとき

◀I 1/32
例:スローモーション逆方向1/32のとき

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

前後のタイトル/チャプター（DVDビデオ）やトラック（DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD）の頭にスキップすることができます。

頭出し1

<DVDビデオ :再生中に>
<DVDオーディオ/オーディオCD :いつでも>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

[前スキップ] または [次スキップ] を押す

選んだタイトルやチャプター、トラックが本体表示窓に表示され、再生が始まります。
[次スキップ(▶▶I)]をくり返し押すと、先のタイトルやチャプター、トラックに進みます。
[前スキップ(I◀◀)]をくり返し押すと、前のタイトルやチャプター、トラックに戻ります。
・現在再生しているタイトルやチャプター、トラックの頭に戻すには、1回だけ**[前スキップ(I◀◀)]**を押します。
・DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき、停止中に▶▶IまたはI◀◀を押してから**[再生(▶)]**を押すと、選んだトラックから再生が始まります）。

頭出し2（リモコンのみ）

<DVDビデオ :再生中に>
<DVDオーディオ/オーディオCD :いつでも>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

数字ボタン（1〜10、＋10）を使って番号を指定する

指定した番号が本体表示窓に表示され、再生が始まります（ダイレクト再生）。
・DVDビデオのときは、チャプターが指定されます。
・DVDオーディオのときは、トラックが指定されます。
・DVDビデオのタイトルやDVDオーディオのグループを指定するときは、**[タイトル/グループ]**を押してから数字ボタンを押します。ただし、停止中のときは、数字ボタンだけでタイトルやグループが指定されることがあります。
・オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます（停止中のときは再生が始まります）。

数字ボタンの使いかた

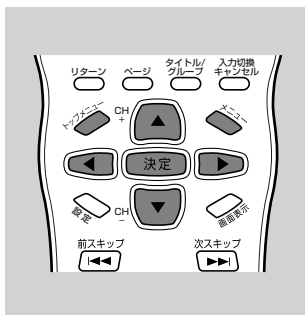
番号「5」を選ぶには	:[5]を押します。
番号「24」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

ご注意

・DVDビデオやPBC〔用語解説（➡ 57ページ）〕対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものもあります。
・「⃠」が表示されたときは･･･
押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていないか、この操作が禁止されています。

メニューから再生する

DVDビデオやDVDオーディオのメニューや、ビデオCD/スーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)機能を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVDビデオ/DVDオーディオのメニューから選ぶ

DVDビデオやDVDオーディオディスクには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

<DVDビデオ/DVDオーディオ:いつでも>

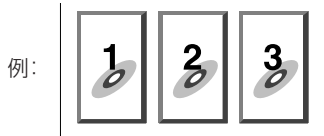
❶ [トップメニュー] または [メニュー] を押す

メニュー画面が表示されます。

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼] を使って見たい映像や項目を選び、[決定] を押す

選択したところから再生されます。

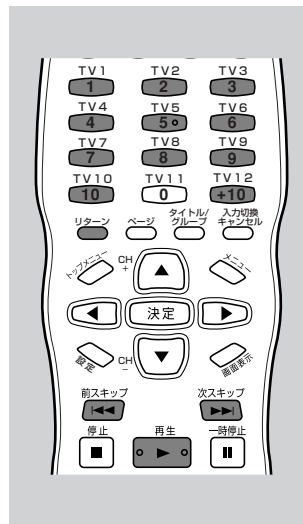
・メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

例:

[トップメニュー] と [メニュー] について

・通常は[トップメニュー]を押して、タイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させせます。
ディスクによっては、[メニュー]を押して、メニュー画面を表示させることがあります。
各ディスクのメニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。

ご注意

・[トップメニュー]を押したとき「⃠」が表示されたときは…
そのディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されていません。
・[メニュー]を押して「⃠」が表示されたときは…
そのディスクにメニュー画面自体が収録されていません。
・停止中は、[メニュー]は働きません。

ビデオCD/スーパービデオCDのメニューから選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

PBC〔用語解説(➡ 57ページ)〕で収録されたビデオCD/スーパービデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

<PBC対応ディスクが停止中に>

❶ [再生] を押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

❷ 数字ボタン(1〜10、+10)を使って見たいトラックの番号を選ぶ

選んだ番号のトラックが再生されます。

番号「5」を選ぶには	:[5]を押します。
番号「24」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

メニュー画面に戻るときは

[リターン]を押します。

テレビ画面上に[次]または[前]が表示されたときは

[次スキップ(▶▶|)]を押してメニューの次のページへ進みます。

[前スキップ(|◀◀)]を押してメニューの前のページへ戻ります。

・操作方法はディスクにより異なります。

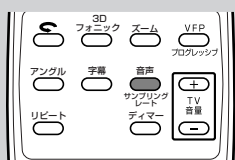
PBCを「入/切」するには

・**PBCを「切」にして再生するには**
停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。
本体表示窓に再生経過時間が表示されます。

・**PBCを「入」にするには**
再生中に、[トップメニュー]または[メニュー]を押します。
または、[停止(■)]を1回(リジューム機能が「オン」のときは2回)押してから、[再生(▶)]を押します。
本体表示窓に「PBC」と表示されます。

DVDプレーヤーの便利な機能

音声言語/音声を選ぶ[音声]

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

複数の音声言語/音声が収録されているディスクで、お好みの音声言語/音声を選びます。
カラオケソフトでは「歌あり/なし」を選ぶことができます。

- **複数の音声が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で画面に「◯))」と表示されます。**

<再生中に>

❶ 音声/サンプリングレート を押す

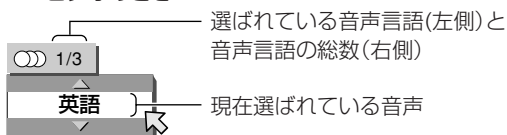
テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

例:DVDビデオのとき

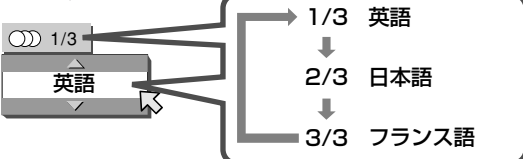
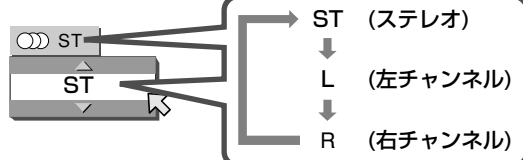
1/3
英語

選ばれている音声言語(左側)と音声言語の総数(右側)
現在選ばれている音声

例:ビデオCDのとき

現在選ばれている音声

❷ 音声/サンプリングレート をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切り換わります。

例:DVDビデオのとき

例:ビデオCDのとき

音声選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

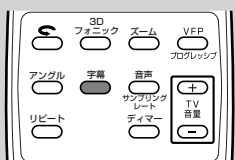
- 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

- メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます(➡ **28**ページ)。
- DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **42**ページ)で表示されます。

ご注意

- **音声選択ウィンドウを表示させるときは、[音声(サンプリングレート)]を長く押さないでください。長く押すと、サンプリング周波数の表示ボタンとして働きます。**
- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「◯))」は表示されません (➡ 45ページ)。**
- **「⊘」が表示されたときは･･･**
  ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **ディスクに収録されていない音声言語/音声については、音声の切り換えがご使用になれません。**

字幕を切り換える[字幕]

複数の字幕言語が収録されているディスクで、お好みの字幕言語を選びます。

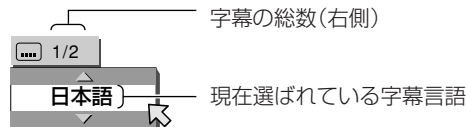
- **複数の字幕が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で「....」が画面に表示されます。**

<再生中に>

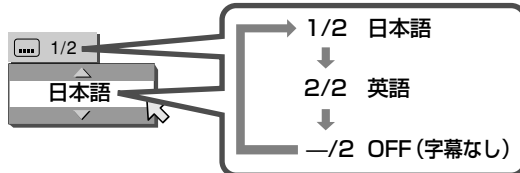
❶ 字幕 を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

1/2
日本語

選ばれている字幕言語(左側)と字幕の総数(右側)
現在選ばれている字幕言語

❷ 字幕 をくり返し押して字幕言語を選ぶ

ボタンを押すごとに、字幕言語が切り換わります。

例:

字幕選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

- 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

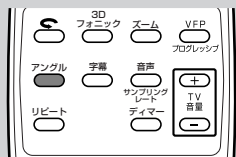
お知らせ

- メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます(➡ **28**ページ)。
- DVDビデオの再生中、字幕選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **42**ページ)で表示されます。

ご注意

- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「....」は表示されません(➡ 45ページ)。**
- **「⊘」が表示されたときは･･･**
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **ディスクに収録されていない言語については、字幕の切り換えがご使用になれません。**

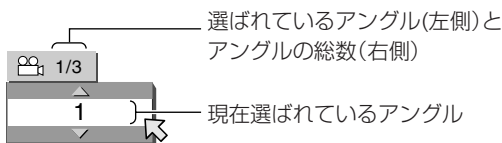
DVDプレーヤーの便利な機能(つづき)

アングルを切り換える[アングル]

DVDビデオの中には、一つの場面を複数のカメラで異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)を収録しているものがあります。お好みのアングルを選んで再生することができます。

・**マルチアングルが収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で画面に「 」と表示されます。**

<再生中に>

❶ アングルを押す

テレビ画面にアングル選択ウィンドウが表示されます。

❷ アングルをくり返し押してアングルを選ぶ

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

アングル選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

・何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

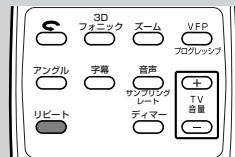
お知らせ

・メニューバーを使って、アングルを選ぶこともできます(➡ **28** ページ)。

ご注意

・**オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「 」は表示されません (➡ 45ページ)。**
・**「 」が表示されたときは・・・**
ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
・**マルチアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切り換えはご使用になれません。**

くり返し再生する[リピート]

<DVDビデオ/DVDオーディオ :再生中に>
<CDオーディオ :再生中または停止中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

リピート を押す

停止中にボタンを押したときは、**[再生(▶)]**を押してリピート再生を始めます。

ボタンを押すごとに、リピートモードが切り換わります。

・リピートモードは、本体表示窓とテレビ画面上に次のように表示されます。

本体表示窓	テレビ画面	モードの説明
1	CHAP (DVDビデオ)	現在再生中のチャプターをくり返し再生
	TRACK (DVDビデオ以外)	現在再生中のトラックをくり返し再生
	TITLE (DVDビデオ)	現在再生中のタイトルをくり返し再生
	GROUP (DVDオーディオ)	現在再生中のグループをくり返し再生
	ALL (DVDビデオ/DVDオーディオ以外)	全トラックをくり返し再生
消灯	OFF	リピート再生のモードを解除

・**この他に、任意の2点間をくり返すA-Bリピート再生をすることもできます。A-Bリピート再生について詳しくは、29ページをご覧ください。**

リピート再生をやめるには

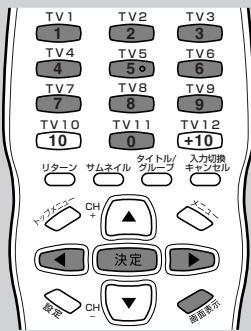
[停止(■)]を押します。

再生が停止します。

・DVDビデオ/オーディオのときは、再生を停止すると同時にリピート再生のモードも解除されます。DVDビデオ/オーディオ以外のときは、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

[リピート]を押して、本体表示窓のリピートモード表示を消灯させるか、テレビ画面上に「OFF」を表示させます。

再生したい位置の時間を指定する

DVD ビデオ / DVD オーディオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオCD

現在のタイトル(DVDビデオ)やグループ(DVDオーディオ)、およびディスク(ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD)の頭からの時間を指定して、再生を始めることがで.きます。

<DVDビデオ :再生中に>
<DVDオーディオ/オーディオCD :いつでも>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

❶ [画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる

メニューバーについて詳しくは、**27**ページをご覧ください。

❷ [◀]/[▶] を押して[カーソル]を[時間指定]に合わせ、[決定] を押す

❸ 数字ボタン(1〜9、0)を押して再生したい時間を入力する

例:DVDビデオのとき

TIME 2:34:__

2時間34分0秒から再生するときは、[2]➡[3]➡[4]と押します。

- DVDビデオ/オーディオ以外のときは、分と秒を入力します。
- 秒の入力は省略することができます。
- [10]と[+10]は使用しません。

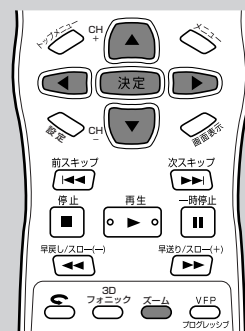
入力を間違えたときは、間違えた数字が消えるまで[◀]を押し、そのあと正しい数字を入力し直してください。

❹ [決定] を押す

指定した時間から再生が始まります。

通常の画面に戻すには

[画面表示]を押します。

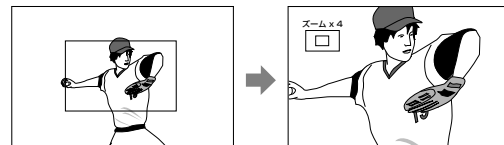
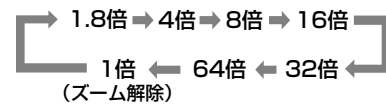
画面を拡大する[ズーム]

DVD ビデオ / DVD オーディオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオCD

画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

<再生中または一時停止中に>

❶ [ズーム] を押す

画面が拡大されます。

- ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼] を押して拡大したい部分を選ぶ

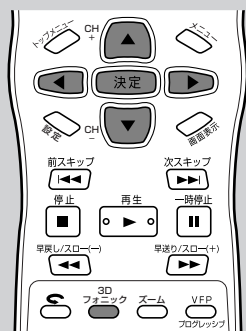
通常の画面に戻すには

[決定]を押します。

ご注意

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

応用操作

音場にサラウンド感を出す[3Dフォニック]

3Dフォニック〔用語解説(➡ **57**ページ)〕を使うと、2本のスピーカーだけでもサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

<再生中に>

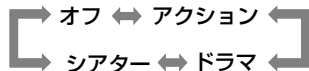
❶ 3D フォニック を押す

テレビ画面に、3Dフォニック設定表示が現れます。

3Dフォニックモード　効果レベル

❷ ◀/▶ を押して3Dフォニックのモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように3Dフォニックのモードが切り換わります。

オフ ⇔ アクション
シアター ⇔ ドラマ

アクション：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
ドラマ：包まれるような自然な雰囲気により、リラックスして映画が楽しめます。
シアター：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
オフ：3Dフォニックを無効にします。

・3Dフォニックを使用中は、本体表示窓の3D表示が点灯します。

❸ ▲/▼ を押して効果レベルを調節する

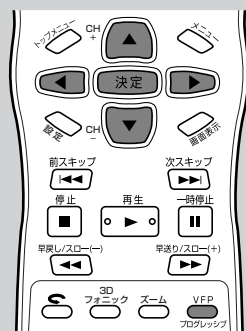
効果は1～5の範囲で選べます。数値が大きくなると、3Dフォニックの効果が大きくなります。

3Dフォニック設定表示を消すには

3Dフォニックを押します。
または、10秒以上何も操作しないと3Dフォニック設定表示は消えます。

ご注意

- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。その他のソースでは3Dフォニックを押しても正しい効果は得られません。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定はかえられますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDVDビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声設定画面」の「アナログOUT」および「Dレンジコントロール」の設定が無効になります。

画質を調節する[VFP]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパー ビデオCD

VFP(Video Fine Processor)〔用語解説(➡ **57**ページ)〕機能を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

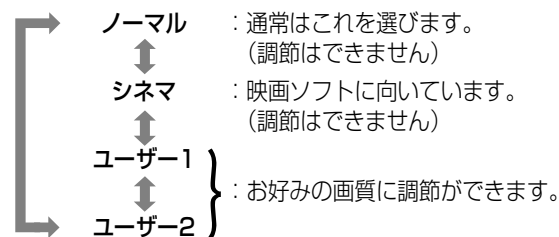
<再生中に>

❶ VFP プログレッシブ を押す

テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

現在選択されている VFP モード

❷ ◀/▶ を使ってVFPモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにVFPモードが切り換わります。

ノーマル：通常はこれを選びます。(調節はできません)
シネマ：映画ソフトに向いています。(調節はできません)
ユーザー1／**ユーザー2**：お好みの画質に調節ができます。

ユーザー1、2を選んだときは

続く手順❸～❻で設定項目を調節し、記憶させることができます。

❸ ▲/▼ を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。(設定範囲：−4～+4)
明るさ：画面の明るさを調節します。(設定範囲：−16～+16)
コントラスト：画面のコントラストを調節します。(設定範囲：−16～+16)
色のこさ：画面の色の濃さを調節します。(設定範囲：−16～+16)
色合い：画面の色合いを調節します。(設定範囲：−16～+16)
シャープネス：画面のシャープさを調節します。(設定範囲：0～+3)
Yディレイ：画面の色ズレを調節します。(設定範囲：−2～+2)

❹ 決定 を押す

VFP設定ウィンドウが消えて、項目ごとの調節ウィンドウが表示されます。

例:「ガンマ」を選んだとき

❺ ▲/▼ を押して設定項目の調節をする

[▲]を押すと数値が大きくなります。
[▼]を押すと数値が小さくなります。
- 数値の調節範囲は、設定項目によって異なります。

❻ 決定 を押す

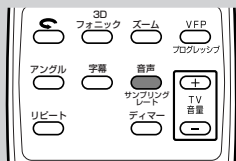
再び、VFP設定ウィンドウが表示されます。
他の項目の調節をするときは、手順❸からくり返します。

VFP設定ウィンドウを消すには

[VFP(プログレッシブ)]を押します。
- 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

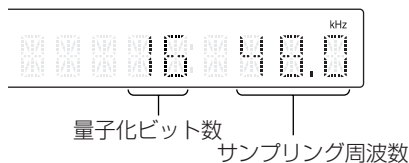
ご注意

- **VFP設定ウィンドウを表示させるときは、[VFP(プログレッシブ)]を長く押さないでください。長く押すと、スキャンモードの切り換えボタンとして働きます。**

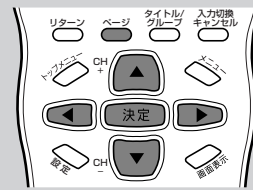
ディスクのサンプリング周波数を表示する

再生中に、ディスクに収録されているデジタル音声の量子化ビット数とサンプリング周波数〔用語解説(➡ **57**ページ)〕を見ることができます。

<再生中に>

❶ 音声/サンプリングレート を1秒以上押す

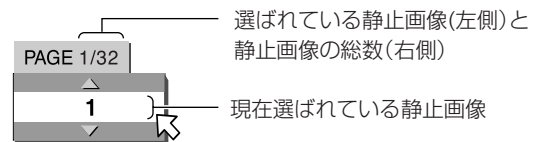
本体表示窓に、フロントスピーカー(左･右)で再生中のデジタル音声の量子化ビット数とサンプリング周波数が一時的に表示されます。

お知らせ

- MP3/WMAディスクを再生中に、上記と同様の操作をすると、MP3ディスクの量子化ビット数とサンプリング周波数を見ることができます。
- ディスクによっては、量子化ビット数とサンプリング周波数の代わりに「NO INFO」と表示されることがあります。
- VRフォーマットのディスクの再生時には表示されません。

DVDオーディオの静止画像を選ぶ[ページ]

多くのDVDオーディオには静止画像が収録されています。静止画像には音声再生に合わせて自動的に表示されるものと手動で選べるものがあり、手動で選べる画像は「B.S.P.(Browsable Still Picture)」(ブラウザブル スチル ピクチャー)と呼ばれています。
「B.S.P.」を収録している箇所の冒頭で「ページ」またはそれに類する表現が表示されます(オンスクリーンガイドが「オン」のとき ➡ **45**ページ)。

<再生中、テレビ画面に「ページ」(またはそれに類する表現)が表示されていて、ステータスバーが表示されていないとき>

❶ ページを押す

テレビ画面にページ選択表示が現れます。

❷ ページをくり返し押してページを切り換える

ボタンを押すごとにページが切り換わり、別の静止画像が表示されます。

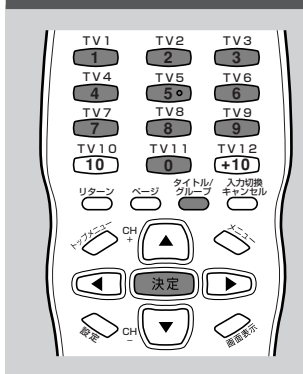
❸ 決定 を押す

テレビ画面のページ選択表示が消えます。
- ページ選択表示は、決定を押さずに約5秒経過したときも消えます。

お知らせ

- メニューバーからも静止画を選ぶことができます(➡ **28**ページ参照)。

DVDオーディオのボーナスグループを再生する

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

DVDオーディオによっては、内容を一般公開していないボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループは必ずディスクの最後のグループに割り当てられます(たとえば、ボーナスグループを含めて4グループが収録されているディスクのときは、第4グループがボーナスグループです。)このボーナスグループを再生するには、指定されたキーナンバー(暗証番号)の入力が必要になります。キーナンバー(暗証番号)を知る方法はディスクによって異なります。キーナンバー(暗証番号)が分かったら、以下の手順でボーナスグループが再生できます。

<ボーナスグループが収録されているDVDオーディオディスクが停止中>

❶ タイトル/グループ を押してから数字ボタン(1〜9、0)を押して、ボーナスグループ(ディスク最後のグループ)を選ぶ

キーナンバー(暗証番号)入力表示が、テレビ画面と本体表示窓に現れます。

テレビ画面

本体表示窓

KEY

❷ 数字ボタン(1〜9、0)を使って4ケタのキーナンバー(暗証番号)を入力し、決定 を押す

正しいキーナンバー(暗証番号)が入力されると、ボーナスグループの再生が始まります。

キーナンバー(暗証番号)入力表示を消すには

間違ってボーナスグループを選択してしまったときなど、キーナンバー(暗証番号)入力表示を消したいときは次のいずれかの操作をすると、キーナンバー(暗証番号)入力表示が消えます。

- [停止(■)]を押す。
- [開/閉]を押してディスクトレイを開ける。
- 電源を「切」にする。

キーナンバー(暗証番号)の記憶を消すには

[開/閉]を押してディスクトレイを開ける。
入力したキーナンバー(暗証番号)の記憶が消去されます。

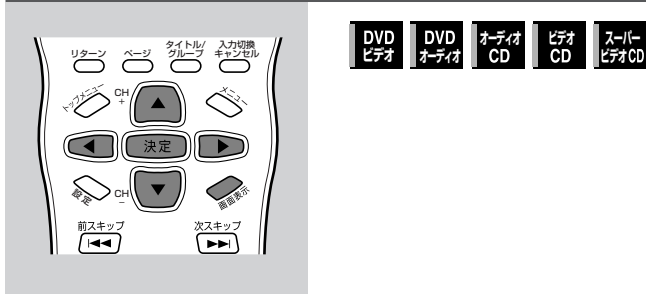
お知らせ

- プログラム再生でボーナスグループ中のトラックを指定したときも、キーナンバー(暗証番号)入力表示が表示されます。数字ボタンを押してキーナンバーを入力してください。
- ランダム再生ではボーナスグループのトラックは再生されません。

ステータスバーとメニューバー

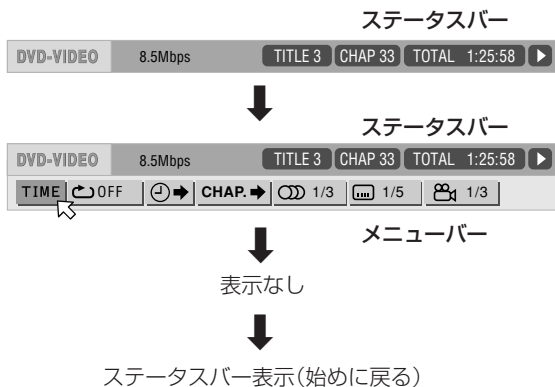
本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中のディスクの情報を確認したり(ステータスバー)、さまざまな機能を呼び出して使う(メニューバー)ことができます。

・VRフォーマットのディスクのステータスバーとメニューバーについては、35ページをご覧ください。
・MP3/WMAディスク、JPEGディスクの再生中には、ステータスバー/メニューバーは使えません。

ステータスバーとメニューバーを使う [画面表示]

<再生中または一時停止中>

❶ (画面表示) を押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

例:DVDビデオのとき

❷ メニューバー表示中に ◀/▶ を押して でアイコンを選ぶ

❸ (決定) を押す

各機能が設定できるようになります。設定内容については「アイコン一覧」(➡ **28**ページ)をご覧ください。

・メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

ご注意

・DVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、メニュー画面での操作がうまくいかないときがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

● ディスクの種類

DVDビデオのとき: DVD-VIDEO
DVDオーディオのとき: DVD-AUDIO
オーディオCDのとき: CD
ビデオCDのとき: VCD
スーパービデオCDのとき: SVCD

● 転送レート(DVDビデオ/オーディオのとき)

映像の単位時間当たりの平均情報量を示しています。

● 現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号

DVDディスクのとき

TITLE 3 CHAP 33 :現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。

DVDオーディオのとき

GROUP 3 TRACK 3 :現在のグループ番号とトラック番号が表示されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 33 :現在のトラック番号が表示されます。

● 時間表示

次の4つの時間表示ができます。

TOTAL :ディスクの最初からの経過時間
T.REM :ディスクの残り時間
TIME :現在再生中のチャプター/トラックの経過時間
REM :現在再生中のチャプター/トラックの残り時間

● 再生の状態

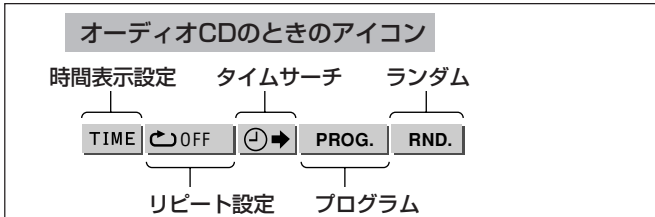
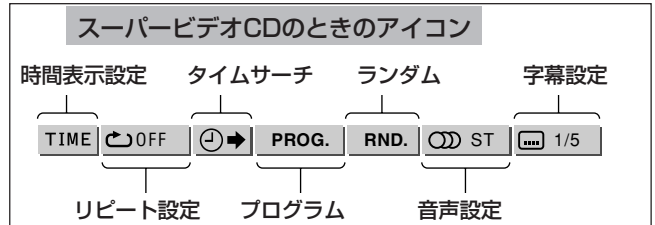
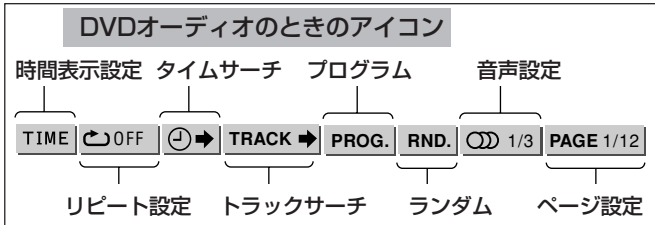
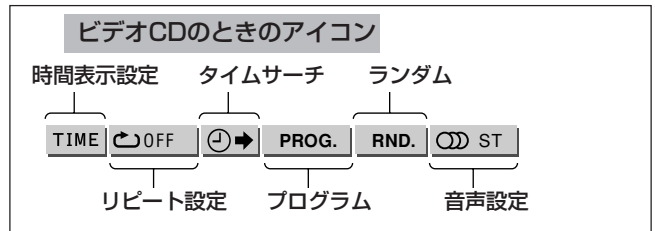
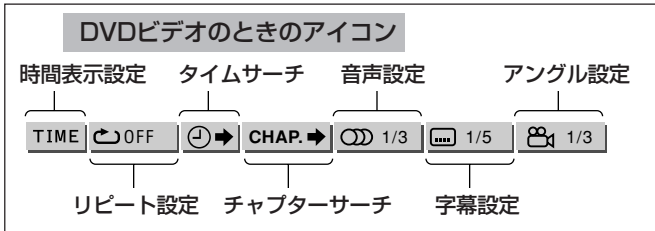
DVDプレーヤーの再生の状態を表示します。

再生中: ▶　停止中: ■
一時停止中: ❚❚　早送り/早戻し中: ◀◀ ▶▶
スロー再生中: ◀❚ ❚▶

応用操作

ステータスバーとメニューバー(つづき)

メニューバーについて

メニューバーからは次の操作をすることができます。メニューバーのアイコンはディスクの種類によって異なります。
詳しい使い方は、「アイコン一覧」をご覧ください。

アイコン一覧

- **TIME 時間表示アイコン**

  ステータスバーの時間表示を切り換えます。**[決定]**を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。

  TOTAL：タイトル(ディスクの頭から)の再生経過時間
  T. REM：タイトル(ディスク)の残り再生時間
  TIME：チャプター(トラック)の再生経過時間
  REM：チャプター(トラック)の残り再生時間

  ( )内はDVDビデオ以外のディスクのとき
  - 停止中はディスクの総収録時間が表示されます(DVDビデオのときは「– –:– –:– –」と表示されます)。

- **OFF リピートアイコン**

  いろいろなくり返し再生するとき選びます。詳しくは、「くり返し再生する」(➡ **22**ページ)をご覧ください。

- **タイムサーチアイコン**

  再生したい場所を時間で、指定します。数字ボタンでタイトルまたはディスクの頭からの時間を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。詳しくは、「再生したい位置の時間を指定する」(➡ **23**ページ)をご覧ください。

- **CHAP. チャプターアイコン**

  DVDビデオで再生したいチャプターを指定します。数字ボタンでチャプター番号を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。
  番号「24」を選ぶには：[2]➡[4]と押します。
  番号「30」を選ぶには：[3]➡[0]と押します。
  ・[10]と[+10]は使用しません。

- **TRACK トラックアイコン**

  DVDオーディオで再生したいトラックを指定します。数字ボタンで番号を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。
  番号「24」を選ぶには：[2]➡[4]と押します。
  番号「30」を選ぶには：[3]➡[0]と押します。
  ・[10]と[+10]は使用しません。

- **1/3 音声アイコン**

  複数の音声を楽しめるディスクの再生中に音声を切り換えます。**[▲/▼]**で音声を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- **1/2 字幕アイコン**

  字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。**[▲/▼]**で字幕を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- **1/3 アングルアイコン**

  複数のアングルを持つDVDビデオの再生中、アングルを切り換えます。**[▲/▼]**でアングルを選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- **PROG. プログラムアイコン**

  プログラム再生をするとき選びます。
  ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「好きな順番で再生する」(➡ **30**ページ)をご覧ください。

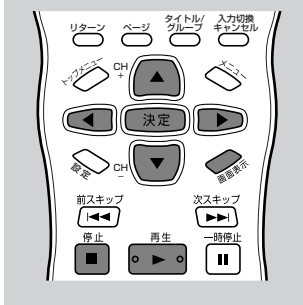
- **RND. ランダムアイコン**

  ランダム再生をするとき選びます。
  ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「無作為な順番で再生する」(➡ **30**ページ)をご覧ください。

- **PAGE 1/12 ページアイコン**

  B.S.P.を収録しているDVDオーディオの再生中、静止画像を切り換えます。**[▲/▼]**でページを選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

くり返し再生する（A-Bリピート再生）

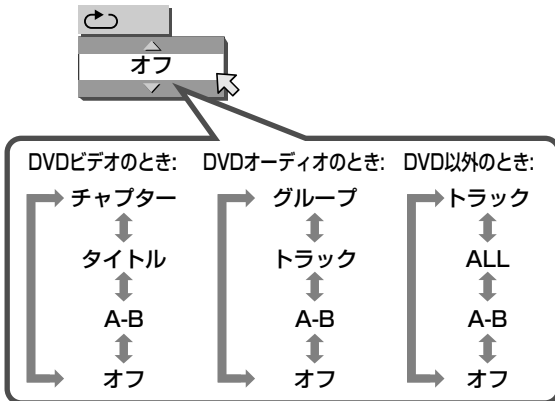
DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

再生中のチャプター(DVDビデオのとき)やトラック(DVDビデオ以外のとき)の指定した範囲をくり返し再生することができます（A-Bリピート）。

<DVDビデオ/DVDオーディオ/オーディオCD　:再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:PBCオフで再生中に>

❶ [画面表示] を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶] を押して☞を[↻OFF] に合わせ、[決定] を押す

❸ [▲]/[▼] を押して「A-B」を選ぶ

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

・A-Bリピート再生以外のモードを選ぶこともできます。その他のモードについて詳しくは、**22**ページをご覧ください。

❹ くり返したい部分の頭で、[決定] を押す（Aポイント）

メニューバーに[↻A-]が表示されます。

❺ くり返したい部分の終わりで、[決定] を押す（Bポイント）

メニューバーの表示が[↻A-B]になり、AポイントとBポイント間のリピート再生が開始されます。

A-Bリピート再生を解除するには

[停止(■)]を押します。

再生が停止し、A-Bリピート再生は解除されます。

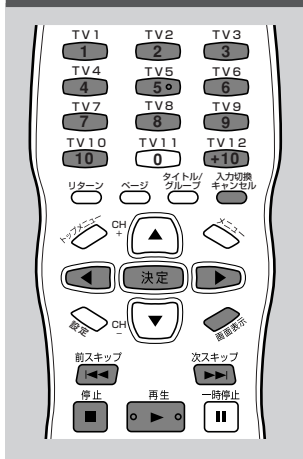
お知らせ

- メニューバーの[↻A-B]に☞を合わせ、**[決定]**を押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
- **[次スキップ(▶▶|)]**または**[前スキップ(|◀◀)]**を押しても、A-Bリピート再生は解除されます。

ご注意

- 「⊘」が表示されたときは･･･
  ディスクによってはA-Bリピート再生ができない場合もあります。
- タイトルまたはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-Bリピートはできません。

ステータスバーとメニューバー(つづき)

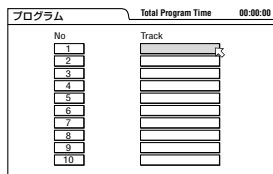
好きな順番で再生する(プログラム再生)

再生するトラックの順番を、最大99トラックまで自由に決めることができます。同じトラックを2回以上プログラム再生することもできます。

<停止中に>

❶ [画面表示] を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶] を押して ☞ を PROG. に合わせ、[決定] を押す

例:オーディオCDのとき

プログラム画面が表示されます。

❸ 数字ボタン(1〜10、+10)を使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

例 :「5」を選ぶときは、[5]を押します。
「12」を選ぶときは、[+10] ➡ [2]と押します。
「22」を選ぶときは、[+10] ➡ [+10] ➡ [2]と押します。

99トラックまで設定することができます。

・トラック番号を間違えたときは
修正したいところまで[▲/▼]を押して☞を動かし、[キャンセル(入力切換)]を押します。

DVDオーディオの場合

最初にグループ番号を選び、そのあと、トラック番号を選びます。

例 :「グループ2のトラック14」を選ぶときは、
[2] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。

❹ [再生] を押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。

・**プログラム再生中は、本体表示窓のPRGM表示が点灯します。**

プログラム再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押します。
プログラム画面が表示されます。

プログラム画面を消すには

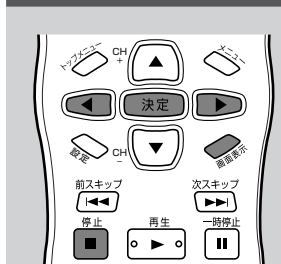
[画面表示]を押します。
・プログラムの内容は消去されません。
[再生(►)]を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容を消去するには

停止中に、プログラム画面を表示させて[停止(■)]を押します。すべてのプログラム内容が消去されます。

お知らせ

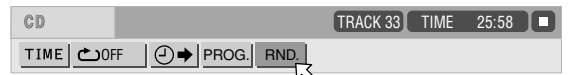
・プログラム再生中、[次スキップ(►►|)]を押すと次にプログラムされているトラックにスキップし、[前スキップ(|◄◄)]を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。
・プログラムされたすべてのトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの内容は残ります。
・次の操作をするとプログラムの内容が消去されます。
－ディスクを取り出す
－電源を「切」にする

無作為な順番で再生する(ランダム再生)

すべてのトラックをランダム(無作為)に一度ずつ再生します。

<停止中に>

❶ [画面表示] を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶] を押して ☞ を RND. に合わせる

例:オーディオCDのとき

❸ [決定] を押す

ランダム再生が始まります。
すべてのトラックの再生が終了すると、ランダム再生は解除されます。
・**ランダム再生中は、本体表示窓のRND表示が点灯します。**

ランダム再生を途中で解除するには

ランダム再生中に、☞を RND. に合わせて[決定]を押します。
ランダム再生が解除され、再生中のところから通常再生になります。

ランダム再生をやめるには

[停止(■)]を押します。
ランダム再生は解除されます。

お知らせ

・次の操作をするとランダム再生は解除されます。
－ディスクを取り出す
－電源を「切」にする

VRフォーマットのディスクを再生する

VRフォーマットについて

本機は、VR(Video Recording)フォーマットで記録されたDVD-RAMやDVD-RWを再生することができます。VRフォーマットで記録されたディスクは、オリジナル再生を行うことができます。

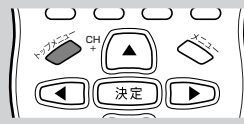
・**オリジナル再生**
　実際に録画したそのままの映像を再生します。オリジナルの映像は、通常のDVDビデオと同様にタイトルとチャプターによって構成されます。

VRフォーマットのディスクでは、以下の機能が使用できません。

・ チョット見バック
・ 逆方向スローモーション再生
・ コマ送り
・ A-Bリピート
・ 再生したい位置の時間指定(タイムサーチ)
・ ディスクリジューム

お知らせ

・本機はDVD-RW/DVD-RAMのプレイリスト再生には対応していません。
・「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を含むタイトルを録画したことのあるディスクは、本機では再生することはできません。
・カートリッジ付のDVD-RAMディスクは、カートリッジからディスクを取り出して再生してください。
・ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

オリジナル再生をする

録画した映像をそのままの順番(オリジナル)で再生することができます。

<停止中または再生中に>

❶ を押す

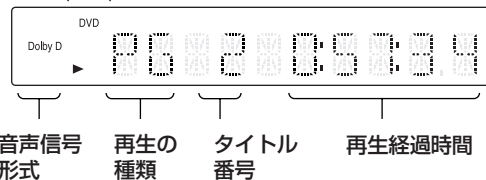
タイトル番号

現在再生中のプログラム

・TV画面に、オリジナル再生のコントロール画面が表示され、オリジナル再生が始まります。

・本体表示窓には、次のように表示されます。

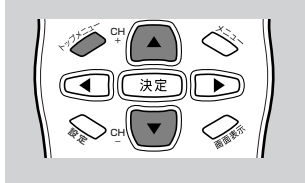
ディスクの種類

音声信号形式　再生の種類　タイトル番号　再生経過時間

コントロール画面を消すには
[**トップメニュー**]を押します。
コントロール画面が消えます。

お知らせ

・全てのタイトルを再生し終わると、再生は停止します。

VRフォーマットのディスクを再生する(つづき)

見たい場面を素早く選ぶ

コントロール画面から見たいタイトルを選んで再生します。

<再生中に>

❶ を押す

オリジナル プログラム

	記録日	CH	開始時間
01	2000/01/23	1	10:51 AM
02	2000/01/23	1	10:51 AM
03	2000/01/23	1	10:51 AM
04	2000/01/23	1	10:51 AM
05	2000/01/23	1	10:51 AM
06	2000/01/23	1	10:51 AM
07	2000/01/23	1	10:51 AM
08	2000/01/23	1	10:51 AM
09	2000/01/23	1	10:51 AM
10	2000/01/23	1	10:51 AM
11	2000/01/23	1	10:51 AM
12	2000/01/23	1	10:51 AM

・TV画面に、コントロール画面が表示されます。

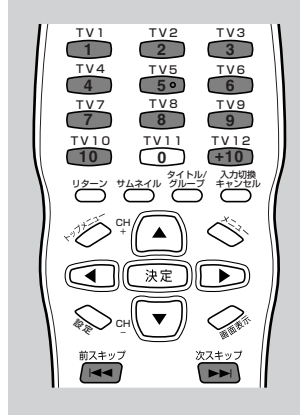
❷ ▲/▼ を押してタイトルを選ぶ

選んだタイトルの再生が始まります。

コントロール画面を消すには

[トップメニュー]を押します。

コントロール画面が消えます。

見たい場面を直接選ぶ

コントロール画面を利用しないで、見たいタイトルやチャプターを選ぶことができます。

頭出し1

<停止中または再生中に>

前スキップ(|◀◀) または 次スキップ(▶▶|) を押す

選んだチャプターの再生が始まります。

[次スキップ(▶▶|)]をくり返し押すと、先のチャプターに進みます。

[前スキップ(|◀◀)]をくり返し押すと、前のチャプターに戻ります。

・現在再生しているチャプターの頭に戻すには、1回だけ[前スキップ(|◀◀)]を押します。
・停止中に▶▶|または|◀◀を押してから[再生(▶)]を押すと、選んだタイトルから再生が始まります。

頭出し2(リモコンのみ)

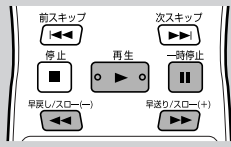
<停止中または再生中に>

数字ボタン(1〜10、+10)を使って番号を選ぶ

選んだタイトルの再生が始まります(ダイレクト再生)。

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　:[5]を押します。
番号「24」を選ぶには　:[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには　:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

いろいろな再生をする

リジューム再生、早送り/早戻し、スローモーション再生など、いろいろな再生をします。

再生をやめる

[停止(■)]を押します。

・「リジューム設定(➡ **45**ページ)が「オン」または「ディスクリジューム」のときは、本体表示窓に「－－RESUME」と表示され、停止位置が記憶されます。
このとき、**リジューム再生**をすることができます。

リジューム再生を始めるには

本体表示窓に「－－RESUME」が表示されている状態で[再生(▶)]を押します。

リジューム再生が始まり、記憶された位置から再生が再開します。

リジュームを解除するには

停止中に**[停止(■)]**を押す、またはディスクトレイを開ける。

お知らせ

- ディスクリジュームは、VRフォーマットのディスクには対応していません(リジューム設定「オン」のときと同じ働きをします)。

一時停止をする

＜再生中に＞

一時停止 ⏸ を押す

再生が一時停止します。

再生を始めるには

[再生(▶)]を押します。
再生が始まります。

早送り/早戻しをする

<再生中に>

早戻し/スロー(ー) ◀◀ または 早送り/スロー(+) ▶▶ を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが1.5倍から60倍まで次のように変化します。

1.5 ➔ 5 ➔ 20 ➔ 60

通常の再生に戻すには

[再生(▶)]を押します。

お知らせ

- 早送り1.5倍のときは、1.5倍速早見再生になります。
- 1.5倍速早見再生を除く早送り/早戻し再生中は、音声が出ません。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

▶▶ x20
例:早送り20倍のとき

◀◀ x5
例:早戻し5倍のとき

- ディスクの記録状態によっては、表示されている速度と異なる場合があります。

スローモーション再生する

<一時停止中に>

早送り/スロー(+) ▶▶ を押す

[スロー(＋)(▶▶)]を押すと順方向のスローモーション再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

$\frac{1}{32}$ ➔ $\frac{1}{16}$ ➔ $\frac{1}{4}$ ➔ $\frac{1}{2}$

通常の再生に戻すには

[再生(▶)]を押します。

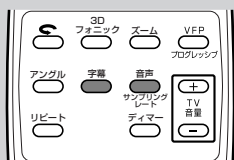
お知らせ

- スローモーション再生中は、音声が出ません。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

▮▶ 1/2
**例:スローモーション
順方向1/2のとき**

- ディスクの記録状態によっては、表示されている速度と異なる場合があります。

VRフォーマットのディスクを再生する(つづき)

音声や字幕を切り換える

音声や字幕を切り換えることができます。

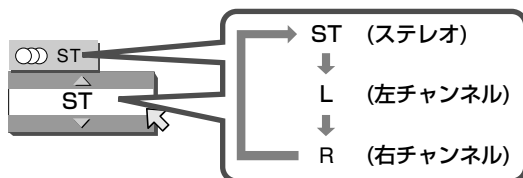
再生する音声を選ぶ

<再生中に>

❶ 音声/サンプリングレート を押す

テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

❷ 音声/サンプリングレート をくり返し押して音声を選ぶ

ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

音声選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

・何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

・メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます(➡ **28**ページ)。

字幕を切り換える

<再生中に>

❶ 字幕 を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

❷ 字幕 をくり返し押して字幕を選ぶ

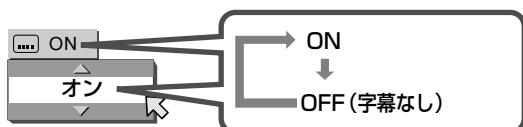
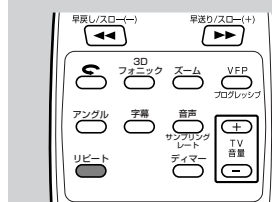
ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。

字幕選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

・何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

・メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます(➡ **28**ページ)。

くり返し再生をする(リピート再生)

<再生中に>

リピート を押す

ボタンを押すごとに、リピートモードが切り換わります。

・リピートモードは、本体表示窓とテレビ画面に次のように表示されます。

本体表示窓	テレビ画面	モードの説明
1	PG	現在再生中のタイトルをくり返し再生
	ALL	ディスク内の全タイトルをくり返し再生
消灯	OFF	リピート再生のモードを解除

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

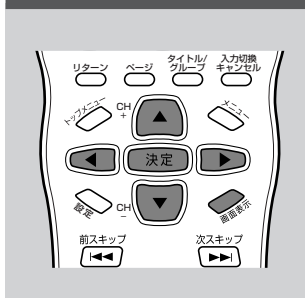
再生が停止し、リピートモードが解除されます。

リピート再生のモードを解除するには

[リピート]を押して、本体表示窓のリピートモード表示を消灯させます。

お知らせ

・メニューバーを使って、リピートモードを選ぶこともできます(➡ **28**ページ)。

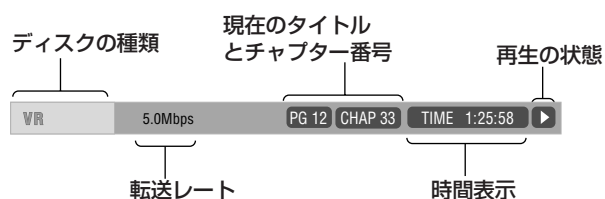
ステータスバーとメニューバーを使う

通常のディスクと同じように、ステータスバーとメニューバーを表示して、メニューバーからいろいろな操作をすることができます。

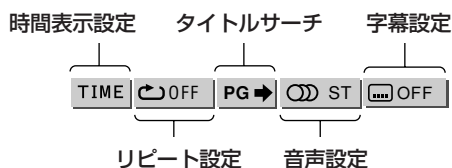
＜停止中または再生中に＞

画面表示 を押す

一回押すとステータスバーが、二回押すとステータスバーとメニューバーが表示されます。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

メニューバーについて

メニューバーには次の情報が表示されます。

メニューバーのアイコン一覧

- TIME **時間表示アイコン**
  ステータスバーの時間表示を切り換えます。[決定]を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。
  TIME　：タイトルの再生経過時間
  REM　：タイトルの残り時間
  ・停止中は「– –:– –:– –」と表示されます。

- OFF **リピートアイコン**
  いろいろなくり返し再生をするとき選びます。詳しくは、「くり返し再生する」(➡ **34**ページ)をご覧ください。

- PG➡ **PGアイコン**
  再生したいタイトルを指定します。数字ボタンでタイトル番号を入力し、[決定]を押すと再生が始まります。
  番号「24」を選ぶには:[2]➡[4]と押します。
  番号「30」を選ぶには:[3]➡[0]と押します。
  ・[10]と[+10]は使用しません。

- ST **音声アイコン**
  複数の音声を楽しめるディスクの再生中に音声を切り換えます。[▲/▼]で音声を選び、[決定]を押すと切り換わります。

- OFF **字幕アイコン**
  字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。[▲/▼]で字幕を選び、[決定]を押すと切り換わります。

お知らせ

・メニューバーでの操作について詳しくは、**27**、**28**ページをご覧ください。

音楽・映像ファイルについて

再生できるファイルについて

本機は、CD-R/RW上にある、以下の音楽・映像ファイルを再生することができます。

- **MP3ファイル**
  サンプリング周波数44.1 kHz、ビットレート128 kbpsで作成されたファイルを推奨します。
  – ID3タグには対応しません。
  – MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- **WMA*ファイル**
  ビットレート64 kbpsで作成されたファイルを推奨します。
  – ビットレート48 kbps以下で作成されたファイルは再生できません。
  – 著作権保護機能には対応しません。
  – WMAタグには対応しません。
- **JPEGファイル**
  解像度640×480で作成されたベースライン方式のファイルを推奨します。
  水平解像度2400ピクセルを超えるファイルは表示できません。

いずれのファイルにも拡張子を正しく付ける必要があります。

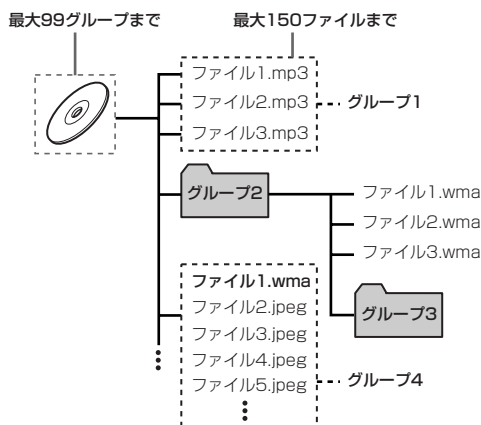
* WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです〔用語解説(➡ **57**ページ)〕。

お知らせ

- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

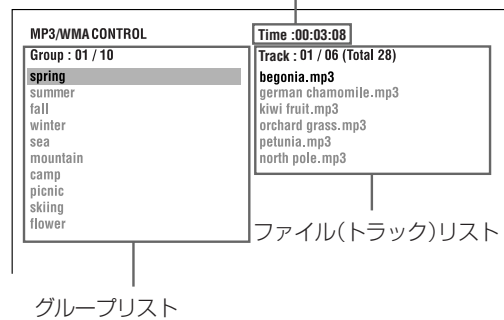
ファイル/フォルダ(グループ)について

通常ファイルは、種類別、ジャンル別などのフォルダとして、まとめて分類します。さらに、ファイル/フォルダの階層構造をつくることもできます。
本書ではフォルダを「**グループ**」と呼びます。
本機は、1つのCD-R/RWにつき最大99グループまで、1グループ内に最大150ファイルまでを識別し再生することができます。
これらを超えるグループやファイルは再生できません。

- 再生できないファイルがある場合、それらもファイルとして数えます。
- 再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

お知らせ

MP3/WMAファイルとJPEGファイルの両方のファイルが記録されているディスクの場合、「映像メニュー(➡ **43**ページ)」の「MP3＆WMA/JPEG」で設定されたファイルを再生します。

コントロール画面について

MP3/WMA/JPEGファイルを含むCD-R/RWを本機に挿入すると、コントロール画面が表示されます。コントロール画面からファイルを選んで再生します。

- ファイル名やグループ名に半角英数字以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
- コントロール画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコン上で表示される順序と異なることがあります。
- 再生できないファイルや、再生できるファイルを含まないグループは、コントロール画面には表示されません。

作成時の注意

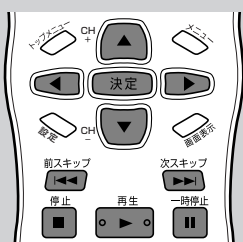
ファイル/グループを作成するときは次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける(大文字小文字の混在も可)**
  MP3ファイル 「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル 「.WMA」「.wma」
  JPEGファイル 「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」
- **ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用する**

CD-R/RWディスクを作成するときは次のことに注意してください。

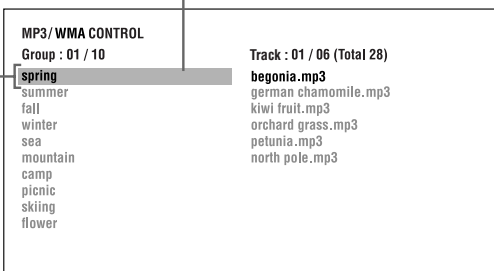
- **ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
- **パケットライト方式(UDFフォーマット)は使わない**

MP3/WMAファイルを再生する

基本操作

コントロール画面からグループやトラックを選んで再生します。

＜コントロール画面表示中に＞

❶ [▲]/[▼] を押してグループを選び、[▶] を押す

選択されているグループ　カーソル

- グループを選ぶごとに、グループ内のトラックがコントロール画面の右側に表示されます。
- グループを選んで[▶]を押すと、カーソルがトラックリストへ移動します。
- カーソルがトラックリスト上にあるときは、[◀]を押してカーソルをグループリストに移動させて、グループを選びます。
- [▶]の代わりに[決定]を押すと、選んでいるグループ内の先頭のトラックから再生を開始します。

❷ [▲]/[▼] を押してトラックを選び、[決定] または [再生] を押す

再生が始まります。

- [次スキップ(▶▶|)]または[前スキップ(|◀◀)]を押しても、トラックを選ぶことができます。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

一時停止をする

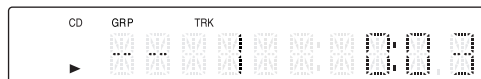
＜再生中に＞

[一時停止] を押す

再生が一時停止します。

再生を始めるには

[再生(▶)]を押します。

通常の再生が始まります。

ファイルを直接選ぶ

コントロール画面を利用しないで、数字ボタンでトラックを選びます。

＜再生中または停止中に＞

❶ [タイトル/グループ] を押す

本体表示窓に「−−」が表示されます。

❷ 数字ボタン(1〜10、+10)を押してグループ番号を選ぶ

コントロール画面のグループリストに表示されている順番で指定できます。

入力例：

グループ5を選ぶには　：[5]を押す
グループ13を選ぶには　：[+10]→[3]と押す
グループ40を選ぶには　：[+10]→[+10]→[+10]→[10]と押す

- 表示窓に「−−」が表示されている間に指定します。「−−」表示が消えてしまったときは、手順❶からやり直してください。

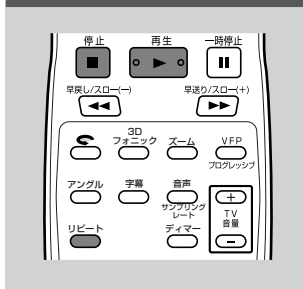
❸ 数字ボタン(1〜10、+10)を押してトラック番号を選ぶ

コントロール画面のトラックリストに表示されている順番で指定できます。

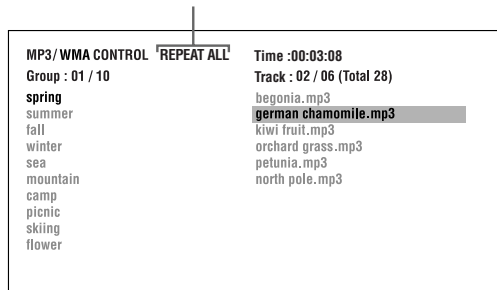
指定したトラックから再生が始まります。

入力例：

トラック5を選ぶには　：[5]を押す
トラック13を選ぶには　：[+10]→[3]と押す
トラック40を選ぶには　：[+10]→[+10]→[+10]→[10]と押す

くり返し再生する(リピート再生)

グループまたはすべてのトラックをくり返し再生することができます。

<コントロール画面表示中に>

リピート を押す

・ボタンを押すごとにリピートモードは次のように切り換わります。

本体表示窓	コントロール画面	モードの説明
1	REPEAT TRACK	現在再生中のトラックをくり返す
	REPEAT GROUP	現在選んでいるグループをくり返す
	REPEAT ALL	すべてのトラックをくり返す
表示なし	表示なし	リピートモードの解除

リピートモード

・停止中のときは、[再生(►)]を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

ただし、リピート再生のモードは解除されません。

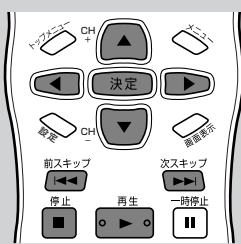
リピート再生のモードを解除するには

[リピート]をくり返し押して、コントロール画面や本体表示窓のリピート表示を消します。

お知らせ

・[画面表示]を押してテレビ画面にリピート画面を表示させたあと、[▲/▼]でリピート再生のモードを選ぶこともできます。

JPEGファイルを再生する

基本操作

コントロール画面からグループやファイルを選んで再生します。

<コントロール画面表示中に>

❶ [▲]/[▼] を押してグループを選び、[▶] を押す

- グループを選ぶごとに、グループ内のファイルがコントロール画面の右側に表示されます。
- グループを選んで[▶]を押すと、カーソルがファイルリストへ移動します。
- カーソルがファイルリスト上にあるときは、[◀]を押してカーソルをグループリストに移動させて、グループを選びます。
- [▶]の代わりに[決定]を押すと、選んでいるグループ内の先頭のファイルを再生します。

❷ [▲]/[▼] を押してファイルを選び、[決定] を押す

選んだファイル(静止画)がテレビ画面に表示されます。現在選んでいるグループ/ファイル番号は本体の表示窓に表示されます。

- [次スキップ(▶▶|)]または[前スキップ(|◀◀)]を押しても、ファイルを選ぶことができます。
- [決定]のかわりに[再生(▶)]を押すと、選んだファイルからスライドショー再生を始めます。

他の静止画を見るには

[次スキップ(▶▶|)]を押すと次の静止画を表示します。
[前スキップ(|◀◀)]を押すと前の静止画を表示します。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

連続再生する(スライドショー再生)

ディスク上にあるJPEGファイルを連続再生(スライドショー)します。

- **画像の表示にかかる時間は、そのファイルの容量によって変わります。**

<静止画の表示中またはコンロトール画面でファイルを選択中に>

[再生] を押す

スライドショー再生が始まり、次々とJPEGファイルが再生されます。

途中でスライドショーを一時停止するには

[一時停止(❚❚)]または[決定]を押します。
再生中の静止画が表示されます。

- [再生(▶)]を押すと、スライドショーの続きが始まります。

スライドショー再生をくり返すには

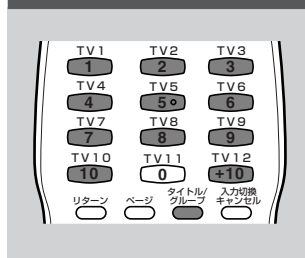
一時停止中または停止中に[リピート]を押します。
ボタンを押すごとにリピートモードは次のように切り換わります。

本体表示窓	コントロール画面(停止時のみ)	モードの説明
⮌	REPEAT GROUP	現在選んでいるグループをくり返す
⮌	REPEAT ALL	すべてのファイルをくり返す
表示なし	表示なし	リピートモードの解除

スライドショーをやめるには

[停止(■)]または[メニュー]を押します。
コントロール画面が表示されます。

JPEGファイルを再生する(つづき)

ファイルを直接選ぶ

コントロール画面を利用しないで、数字ボタンでファイルを選んでスライドショーを始めることができます。

＜一時停止中または停止中に＞

❶ タイトル/グループ を押す

本体表示窓に「－－」が表示されます。

GRP　TRK

❷ **数字ボタン(1～10、＋10)を押してグループ番号を選ぶ**

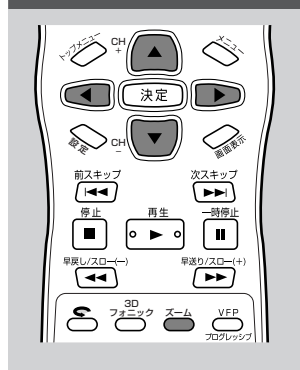
コントロール画面のグループリストに表示されている順番で指定できます。
入力例:
　グループ5を選ぶには　：[5]を押す
　グループ13を選ぶには：[＋10]→[3]と押す
　グループ40を選ぶには：[＋10]→[＋10]→[＋10]→[10]と押す

・表示窓に「－－」が表示されている間に指定します。「－－」表示が消えてしまったときは、手順❶からやり直してください。

❸ **数字ボタン(1～10、＋10)を押してファイル番号を選ぶ**

コントロール画面のファイルリストに表示されている順番で指定できます。
指定したファイルからスライドショー再生が始まります。
入力例:
　ファイル5を選ぶには　：[5]を押す
　ファイル13を選ぶには：[＋10]→[3]と押す
　ファイル40を選ぶには：[＋10]→[＋10]→[＋10]→[10]と押す

・手順❷のあと、5秒以内にファイルを指定してください。指定しなかったときは、選んだグループの最初のファイルからスライドショー再生が始まります。

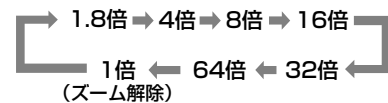
画像を拡大する[ズーム]

再生中の画像の拡大ができます。

映像を拡大する

＜(スライド再生中を除く)ファイルの再生中または一時停止中に＞

ズーム を押す

・ボタンを押すごとに、拡大の倍率が次のように段階的に変わります。

1.8倍 → 4倍 → 8倍 → 16倍 → 32倍 → 64倍 → 1倍(ズーム解除) → 1.8倍

拡大する位置を変えるには

再生中に[◄/►/▲/▼]を押します。

映像を通常のサイズに戻すには

[決定]を押します。

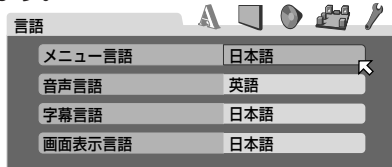
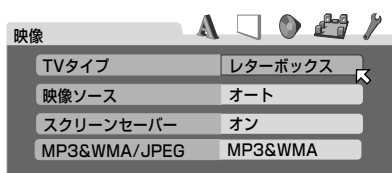
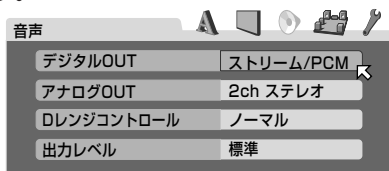
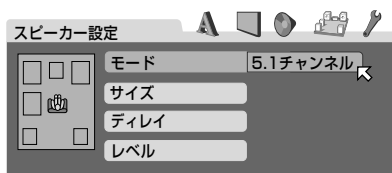
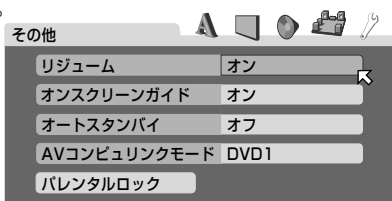
ご注意

・**拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。**

初期設定を変更する

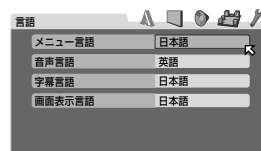
初期設定メニューについて

次の4つの設定メニューを使って、DVDプレーヤーの設定をします。

:言語メニュー　(➡ 42ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定と設定メニューの言語を設定します。

:映像メニュー　(➡ 43ページ)
映像出力の設定などをします。

:音声メニュー　(➡ 44ページ)
音声出力の設定をします。

:スピーカー設定メニュー　(➡ 45ページ)
スピーカーの設定をします。
「**音声メニュー**」の「**アナログOUT**」が「**マルチチャンネル**」のときのみ設定できます。サイズ、ディレイ、レベルのサブメニューがあります。

:その他メニュー　(➡ 45ページ)
その他の設定をします。
パレンタルロックのサブメニューがあります。

お買い上げ時の設定を変更する

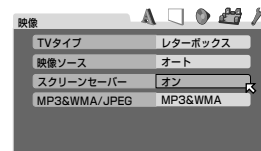
操作の例として「映像メニュー」の「スクリーンセーバー」の設定を変更します。

❶ [設定] を押す

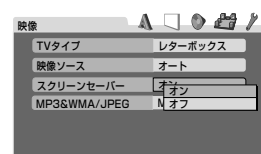
言語メニュー画面が表示されます。

・再生中には選択できない項目もあります。

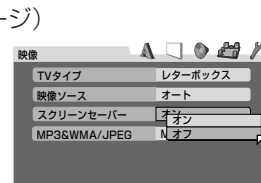
❷ [◀]/[▶] を押して映像メニューを表示させる

・ボタンを押すごとにメニュー画面は切り換わります。

❸ [▲]/[▼] を押して↖を「スクリーンセーバー」に合わせる

・メニュー画面によっては、他の項目の設定によって選択できない項目もあります。

❹ [決定] を押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

❺ [▲]/[▼] を押して↖をお好みの設定に合わせる

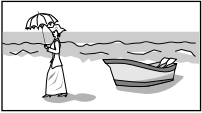
(➡ 42～47ページ)

❻ [決定] を押す

設定が変更されました。

設定メニューを消すには
[設定]を押します。

お知らせ

・MP3/WMA/JPEGディスクがセットされているときは、初期設定画面が表示できません。
・ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下の部分が切れた状態で表示される事があります。このようなときは、テレビ側の設定で画像サイズを変えてください。

初期設定メニュー項目一覧

（網掛け）がお買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容
言語メニュー	メニュー言語	DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	音声言語	DVDの音声言語を選びます。 英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	字幕言語	DVDの字幕言語を選びます。 オフ⬌英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語⬌英語

〈言語コード一覧〉

コード	言　語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ-ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

（灰色の網掛け）がお買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容	
映像メニュー	TVタイプ 16:9画面 レターボックス画面 パンスキャン画面	お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。	
		16:9ノーマル	：画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。（本機が4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、出力信号の画面幅を自動調節します）
		16:9オート	：普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。
		レターボックス	：上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。
		パンスキャン	：左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。 ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。
	映像ソース	ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。	
		ビデオ(ノーマル)	：動きの少ないビデオ素材の映像の再生に適しています。
		ビデオ(アクティブ)	：動きの激しいビデオ素材の映像の再生に適しています。
		フィルム	：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録された映像ソースの再生に適しています。
		オート	：素材のタイプ（ビデオ/フィルム）を自動判別します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像の再生に適しています。通常はこの設定にします。 ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてみてください。
	スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバーを使うか、使わないかを選びます。	
		オン	：静止画が5分以上続くと画面が暗くなります。
		オフ	：スクリーンセーバーは機能しません。
	MP3&WMA/JPEG	1枚のCD-R/CD-RWディスクに音楽ファイル（MP3/WMA）と画像ファイル（JPEG）の両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするか選びます。	
		MP3&WMA	：MP3/WMAファイルを再生します。
		JPEG	：JPEGファイルを再生します。

初期設定メニュー項目一覧(つづき)

（網掛け）がお買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容	
音声メニュー	デジタルOUT	本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。(デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません) 設定項目と出力信号の関係については、デジタル出力信号の一覧表をご覧ください。	
		PCMのみ	：リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。
		DOLBY DIGITAL/PCM	：ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
		ストリーム/PCM	：DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	アナログOUT	サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。 ・3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。 ・DVDオーディオの中には2チャンネルのダウンミックスを禁止しているものがあります。このようなディスクは、「アナログOUT」の設定を「2ch ドルビーサラウンド」や「2ch ステレオ」にして再生してもダウンミックスが機能しません。このとき本体の表示窓には、2〜3秒間「MULTI CH」と表示されます。	
		2ch ドルビーサラウンド	：本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
		2ch ステレオ	：本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
		マルチチャンネル	：本機の5.1ch音声出力端子をを5.1ch入力端子付のアンプに接続してサラウンド音声を楽しむとき、この設定にします。
	Dレンジコントロール	ドルビーデジタルの音声を再生しているときにダイナミックレンジ（最大音声と最小音声の差）を圧縮（コンプレッション）することができます。夜間にサラウンドをお楽しみいただくときに使います。 ・この機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスク以外では働きません。 ・3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。	
		ワイドレンジ	：ダイナミックレンジを圧縮しないでお楽しみいただけます。
		ノーマル	：通常はこの設定にします。
		TVモード	：本機をテレビにつないでいるとき選びます（ダイナミックレンジTVモード）。小さい音でもよく聞こえます。
	出力レベル	音声出力のレベルを小さくするときに使います。	
		標準	：通常はこの設定にします。
		小	：出力レベルが小さくなります。

〈デジタル音声出力の一覧表〉

再生するディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVD、MLPのDVDオーディオ	48/44.1 kHz、16/20/24ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVD	DTSビットストリーム	48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVD	ドルビーデジタルビットストリーム		48 kHz、16ビット ステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD	44.1 kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1 kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3/WMAファイルを記録したCD-R/RW	リニアPCM		

お知らせ

・著作権保護の設定がされていないDVDビデオの再生では、20または24ビットの音声信号がデジタル音声出力端子から出力されることがあります。

（網掛け部分）がお買い上げ時の設定状態です。

メニュー	項目	説明	設定	内容
スピーカー設定メニュー	モード	「音声メニュー」の「アナログOUT」を「マルチチャンネル」に設定しているときのみ選べます。 接続するシステムに合わせてスピーカーの設定をします。	5.1チャンネル（お買い上げ時の設定）	：5.1chの入力端子を持つアンプと接続して、フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー(リアスピーカー）、サブウーハーを使うとき選びます。
			エキスパート	：スピーカーに合わせて詳細な設定をするときに使用します。 「サイズ」「ディレイ」「レベル」の設定ができます。
	サイズ ディレイ レベル	「スピーカー設定メニュー」の「モード」を「エキスパート」に設定しているときのみ選べます。 スピーカーに合わせて詳細な設定をします。これらの項目を選ぶと、スピーカー設定のサブメニュー画面が表示されます。 設定方法については、46〜47ページをご覧ください。 「5.1チャンネル」を選んだときの各スピーカーのサイズは、次のように固定されています。 フロントスピーカー　:大 センタースピーカー　:小 サラウンドスピーカー :小 バスリダイレクト　:サブウーハー		
その他メニュー	リジューム	リジューム再生（➡ 17ページ）を使うか、使わないかを選びます。	オン（お買い上げ時の設定）	：リジューム機能が働きます。
			オフ	：リジューム機能が働きません。
			ディスクリジューム	：最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます。ディスクを取り出しても停止位置を記憶します。
	オンスクリーンガイド	再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク（[▶]、[....] など）や文字を表示するか、表示しないかを選びます。	オン（お買い上げ時の設定）	：マークや文字が表示されます。
			オフ	：マークや文字が表示されません。
	オートスタンバイ	60分または30分間、本機の停止状態が続いたとき、本機の電源を自動的に「切(スタンバイ)」にするか、しないかを選びます。	60	：60分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
			30	：30分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
			オフ（お買い上げ時の設定）	：オートスタンバイ機能は働きません。
	AVコンピュリンクモード	ビクターのテレビやAVアンプなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。（➡ 51ページ）	DVD1（お買い上げ時の設定）	：テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続したとき選びます。
			DVD2	：テレビのビデオ1入力に接続したとき選びます。
			DVD3	：テレビのビデオ2入力に接続したとき選びます。
	パレンタルロック	視聴制限（パレンタルロック）を設定します。この項目を選ぶと、パレンタルロック設定画面が表示されます。 設定方法については、48ページをご覧ください。		

初期設定を変更する(つづき)

スピーカー設定画面

「**スピーカー設定メニュー**」の「**モード**」で「**エキスパート**」を選ぶと、接続しているスピーカーに合わせて詳細な設定ができるようになります。

ご注意

ディスクを再生中は、「**スピーカー設定**」を選択することはできません。

サイズ設定画面

「スピーカー設定メニュー」の「サイズ」を選ぶと、サイズ設定画面が表示されます。
使用するスピーカーに合わせてサイズを設定します。

（網掛け）がお買い上げ時の設定状態です。

<table>
<tr><td rowspan="3">フロントスピーカー</td><td colspan="2">フロントスピーカーの大きさに合わせてサイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>大（お買い上げ時）</td><td>：低音が十分再生できる大きなスピーカーのとき。</td></tr>
<tr><td>小</td><td>：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。
フロントスピーカーを「小」に設定すると、他のスピーカーは「大」を設定できません。
また、バスリダイレクトは「サブウーハー」以外に設定できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">センタースピーカー</td><td colspan="2">センタースピーカーの大きさに合わせてサイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>大</td><td>：低音が十分再生できる大きなスピーカーのとき。
フロントスピーカーを「大」に設定したとき設定できます。</td></tr>
<tr><td>小（お買い上げ時）</td><td>：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>：センタースピーカーを使用しないとき。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">サラウンドスピーカー</td><td colspan="2">サラウンドスピーカー(リアスピーカー)の大きさに合わせてサイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>大</td><td>：低音が十分再生できる大きなスピーカーのとき。
フロントスピーカーを「大」に設定したとき設定できます。</td></tr>
<tr><td>小（お買い上げ時）</td><td>：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>：サラウンドスピーカーを使用しないとき。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">バスリダイレクト</td><td colspan="2">低音が十分に出ない小型スピーカーを使用しているとき、不足する低音成分をサブウーハーまたはフロントスピーカーのどちらで再生するか選びます。
フロントスピーカーが「大」、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーが「小」のとき設定します。</td></tr>
<tr><td>サブウーハー（お買い上げ時）</td><td>：不足した低音をサブウーハーから出力するときに選びます。
・フロントスピーカーが「小」の時は、バスリダイレクトは「サブウーハー」に固定されます。
・フロントスピーカーが「大」でセンタースピーカーとサラウンドスピーカーが「なし」のとき、またはすべての スピーカーが「大」のときは、バスリダイレクト「なし」に固定されます。</td></tr>
<tr><td>フロント L/R</td><td>：不足した低音をフロントスピーカーから出力するときに選びます。
本機のサブウーハー端子からは、音声信号は出力されません。</td></tr>
<tr><td>戻る</td><td colspan="2">スピーカー設定メニューに戻るときに選びます。</td></tr>
</table>

お知らせ

・DVDオーディオ再生時、センタースピーカーとサラウンドスピーカーのいずれかまたは両方が「**なし**」に設定されていると、それらの音声はフロントスピーカーから出力されません。

ディレイ設定画面

「スピーカー設定メニュー」の「ディレイ」を選ぶと、ディレイ設定画面が表示されます。
各スピーカーの設置位置に合わせてディレイを設定します。聞く位置からフロントスピーカーまでの距離を基準にして、センタースピーカー、サラウンドスピーカーまでの距離に合わせて設定します。

センタースピーカー	0.0m～1.5mの間で調節できます。 聞く位置からフロントスピーカーまでと、センタースピーカーまでの距離がほぼ同じときに0.0mにします。 センタースピーカーまでの距離の方が短くなるにしたがってディレイを長く設定します。
サラウンドスピーカー	0.0m～4.5mの間で調節できます。 聞く位置からフロントスピーカーまでと、サラウンドスピーカー（リアスピーカー）までの距離がほぼ同じときに0.0mにします。サラウンドスピーカーまでの距離の方が短くなるにしたがってディレイを長く設定します。
戻る	スピーカー設定メニューに戻るときに選びます。

レベル設定画面

「スピーカー設定メニュー」の「レベル」を選ぶと、レベル設定画面が表示されます。
各スピーカーの出力レベルを変えることができます。

フロントスピーカー	**0dBに固定**されています。選ぶことはできません。
センタースピーカー	**–6dB〜0dB〜6dBの範囲**で調節できます。
サラウンドスピーカー	**–6dB〜0dB〜6dBの範囲**で調節できます。
サブウーハー	**–6dB〜0dB〜6dBの範囲**で調節できます。
テストトーン	各スピーカーレベルを調節するときに使うテストトーンをならすとき、「**オン**」を選びます。 テストトーンは次の順に鳴ります。 左フロントスピーカー → センタースピーカー → 右フロントスピーカー → 右サラウンドスピーカー → 左サラウンドスピーカー → 左フロントスピーカー テストトーンを止めるときは、「**オフ**」を選びます。 ・テストトーンはサブウーハーからは鳴りません。 ・「**戻る**」を選ぶと、テストトーンが止まります。
戻る	スピーカー設定メニューに戻るときに選びます。

初期設定を変更する

テストトーンを鳴らしてスピーカーの出力レベルを調節する

テストトーンを聞きながらセンタースピーカーとサラウンドスピーカーの出力レベルを調節します。

❶ 本機の音声を出す機器の音量を適度な音量にする

❷ レベル設定画面を表示し、「テストトーン」を「オン」にする

テストトーンが各スピーカーから順番に出力されます。
レベル設定画面左側のスピーカー配置図では、テストトーンが鳴っているスピーカーが黄色く表示されます。

❸ ▲/▼ を押して出力レベルを調節するスピーカーを選び、決定 を押す

選んだスピーカーからテストトーンが鳴ります。
レベル設定画面左側のスピーカー配置図では、選択したスピーカーは緑色で表示されます。
- 「サラウンドスピーカー」を選んだときは、左サラウンドスピーカーと右サラウンドスピーカーから交互にテストトーンが鳴ります。

❹ レベルを調節し、決定 を押す

選択したスピーカーの出力レベルが設定されます。
再びテストトーンが順番に鳴り始めます。

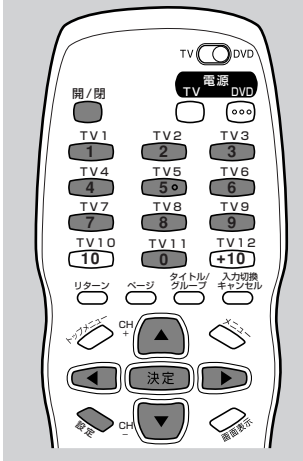
❺ 手順❸〜❹をくり返して、すべてのスピーカーの音量が同じくらいになるように出力レベルを設定する

出力レベルの設定が終わったら

「**テストトーン**」を選び、「**オフ**」に設定します。テストトーンが止まります。
または「**戻る**」を選びます。テストトーンが止まり、「**スピーカー設定メニュー**」に戻ります。

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)

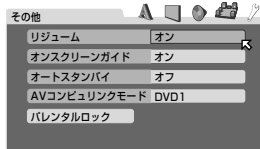
過激なシーンを含むDVD映画ソフトを再生するときなど、ディスクが対応しているときパレンタルロックの設定に応じて、そのようなDVD映画ソフトの視聴を制限することができます。

はじめに設定する

<停止中、またはディスクが入っていないときに>

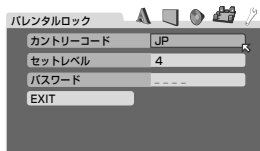
❶ 設定 を押す

設定メニューが表示されます。

❷ ◀/▶ を押して「その他メニュー」に ↖を合わせる

「その他メニュー」が表示されます。

❸ ▲/▼ を押して↖を「パレンタルロック」に合わせ、決定 を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

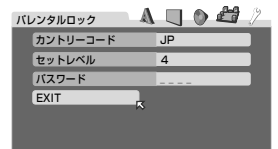
・はじめて設定するときは「カントリーコード」が選ばれます。

❹ ▲/▼ を使って設定項目を選び、決定 を押す

カントリーコード：**50**ページの一覧表を参考に[▲/▼]でカントリーコードを選び、[決定]を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。[▲/▼]で数値(1〜8)または「なし」を選び、[決定]を押します。

パスワード：数字ボタン(1〜9、0)を押して4ケタのパスワードを入力し、[決定]を押します。

❺ 手順❹をくり返し他の項目を設定する

・パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

❻ 決定 を押す

「その他メニュー」が表示されます。

チャイルドロックについて

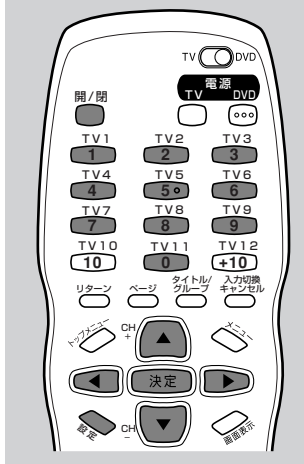
本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすること(チャイルドロック)ができます。小さなお子様がいるご家庭などで、誤作動を防ぎたいときお使いください。

チャイルドロックの設定をする

- 本機にディスクを入れた状態で操作します。
- 本体のボタンで操作します。
- 電源が「切(スタンバイ状態)」のときに操作します。

電源が「切」のとき、本体の[■(停止)]を押しながら、[⏏(開/閉)]を押す

- チャイルドロックが設定されているときは、ディスクを取り出そうとすると、本体表示窓に「LOCK」と表示され、ディスクトレイが出てきません。
- チャイルドロックの設定を解除するときは、もう一度同じ操作をします。

設定を変更する

・現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。

＜停止中、またはディスクが入っていないときに＞

❶ 設定 を押す

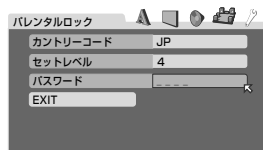
設定メニューが表示されます。

❷ ◀/▶ を押して「その他メニュー」に ☞を合わせる

その他メニューが表示されます。

❸ ▲/▼ を押して☞を「パレンタルロック」に合わせ、決定 を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

・すでにパスワードを設定しているときは「パスワード」が選ばれます(➡ **48**ページ)。

❹ 設定したパスワードを数字ボタン(1〜9、0)を使って入力し、決定 を押す

正しいパスワードが入力されたときは、☞が「カントリーコード」に移動します。

・パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき☞が「EXIT」に移動し、動かせなくなります。**[決定]**を押してもう一度最初からやり直してください。

❺ 48ページの手順❹を参考にして設定を変更する

カントリーコード：**50**ページの一覧表を参考に**[▲/▼]**でカントリコードを選び、**[決定]**を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。**[▲/▼]**で数値(1〜8)または「なし」を選び、**[決定]**を押します。

・カントリーコードを変更したときは、セットレベルも新しく設定する必要があります。

❻ ☞が「パスワード」を指しているときに、数字ボタン(1〜9、0)を使って新しいパスワードを入力し、決定 を押す

❼ ☞が「EXIT」を指しているときに、決定 を押す

その他メニューが表示されます。

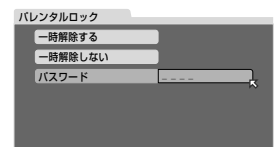
パレンタルロックを一時解除する

パレンタルロックを厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。

＜再生中に＞

❶ 下の画面が表示されたら、▲/▼ を使って☞を「一時解除する」に合わせ、決定 を押す

☞が「パスワード」に移動します。

・「一時解除しない」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。**[開/閉]**を押してディスクを取り出してください。

❷ 設定したパスワードを数字ボタン(1〜9、0)を使って入力し、決定 を押す

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Federated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Vietnam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

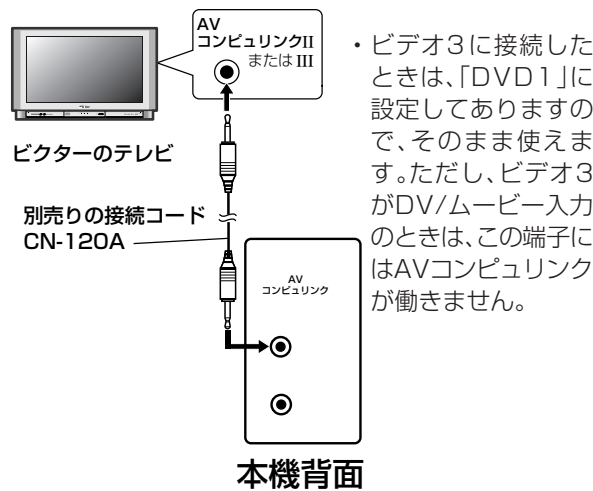
AVコンピュリンクの活用

本機にテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどいくつかの機器をつないだあと、再生するための操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。ビクター製の機器をモノラルミニプラグ付きの接続コード(CN-120A:別売り)を使って各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPULINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

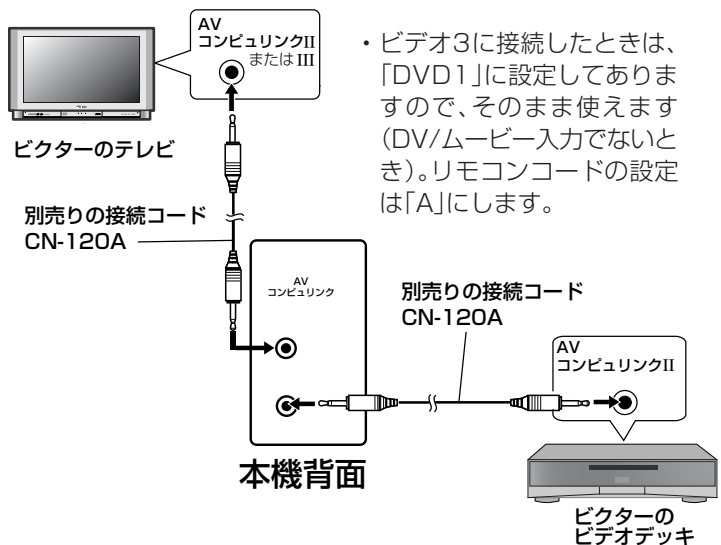
- 接続する前に、必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜いておいてください。すべての接続が終わってから電源を入れてください。
- AVコンピュリンクモードの設定(DVD1～DVD3 の切り換え)は、初期設定メニュー画面(➡ **45**ページ)で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ テレビとのAVコンピュリンク接続

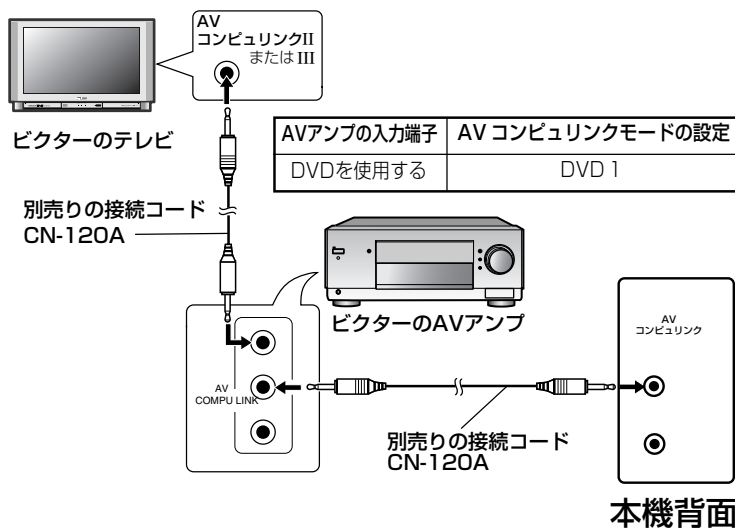
AV
コンピュリンクII
または III
ビクターのテレビ
別売りの接続コード
CN-120A
AV
コンピュリンク
本機背面

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ3がDV/ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ1のとき	DVD 2
ビデオ2のとき	DVD 3

■ テレビおよびビデオデッキとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます(DV/ムービー入力でないとき)。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオデッキのリモコンコードの設定
ビデオ1のとき	DVD 2	B
ビデオ2のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

AVアンプの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD 1

ご注意

- 本機からの音声出力をAVアンプにつなぐときは、AVアンプ側のDVD以外の音声入力端子に接続すると、AVコンピュリンクは正しく動作しません。
- D端子(D1/D2)を使ってテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

ソース機器(本機やビデオデッキなどの再生する機器のことをいいます)を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

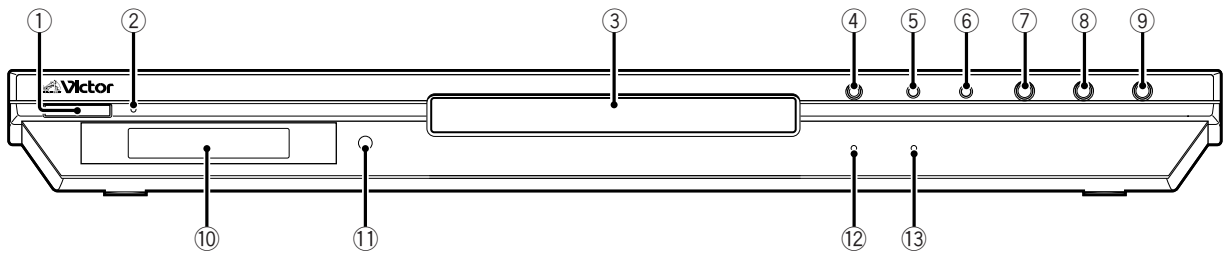
1 テレビの主電源スイッチを「入」にする
2 ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる
3 ソース機器の[再生(►)]を押す

次の動作が自動的に行われます。
- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換がソース機器を接続している外部入力(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)になります。
- AVアンプの電源が「入」になります。
- AVアンプのソース切換が**[再生(►)]**を押した機器に切り換わります。

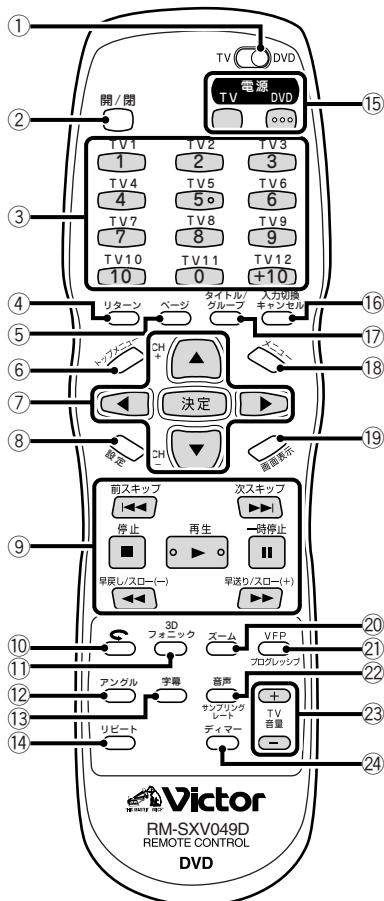
AVアンプの電源を「入」にしたときは

AVアンプ側で選んだソースに応じた、テレビやソース機器の電源が「入」になります。(AVアンプ側で選んだソースが「DVD」のときAVアンプの電源を「入」にすると、本機の電源が「入」になります)

各部の名称

本体と表示窓

① ⏻/I STANDBY/ONボタン
② STANDBY/ONランプ
③ ディスクトレイ
④ ▲(開/閉)ボタン
⑤ ⏮ボタン
⑥ ⏭ボタン
⑦ ■(停止)ボタン
⑧ ►(再生)ボタン
⑨ ❚❚(一時停止)ボタン
⑩ 表示窓
⑪ リモコン受光部
⑫ PROGRESSIVEランプ
⑬ DVD AUDIOランプ

1 デジタル音声フォーマット表示
2 ディスク表示
3 グループ/タイトル/トラック/チャプター表示
4 リピートモード表示
5 プログラム/ランダムモード表示
6 時間情報表示
7 サンプリング周波数表示
8 3Dフォニック表示
9 ►(再生)/❚❚(一時停止)表示
10 マルチ情報表示部

リモコン

① TV-DVD切換スイッチ
② 開/閉ボタン
③ 数字ボタン(1〜9、0、10、+10)
④ リターンボタン
⑤ ページボタン
⑥ トップメニューボタン
⑦ メニュー操作ボタン
⑧ 設定ボタン
⑨ ディスク操作ボタン
⑩ (チョット見バック)ボタン
⑪ 3Dフォニックボタン
⑫ アングルボタン
⑬ 字幕ボタン
⑭ リピートボタン
⑮ TV電源ボタン
DVD電源ボタン
⑯ 入力切換ボタン
キャンセルボタン
⑰ タイトル/グループボタン
⑱ メニューボタン
⑲ 画面表示ボタン
⑳ ズームボタン
㉑ VFPボタン
プログレッシブボタン
㉒ 音声ボタン
サンプリングレートボタン
㉓ TV音量ボタン(+、−)
㉔ ディマーボタン

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点検をしてください。下記の項目に当てはまらないときは、本システム以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、下記の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(➡ **54**ページ)をお読みの上、修理を依頼してください。

	症状	処置	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか?	11
リモコン操作	リモコンが働かない	●リモコンを受光部に向けて約5m以内で障害物を避けてお使いください。 ●電池を交換してください。 ●電池の極性(⊕、⊖)が違っていませんか? 電池を正しく入れ直してください。 ●リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	11 11 11 11
	テレビが操作できない。	●入力した他メーカーのコード番号が間違っていませんか？ 正しいコード番号を入力し直してください。 ●リモコンのTV/DVD切換スイッチを「TV」側にしてください。	15 15
音声	音が出ない	●オーディオコードを正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	8～11 7
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。 ●「音声メニュー」の「出力レベル」を「小」に設定してください。	7 44
	DVDオーディオ再生中、本体表示窓に「MULTI CH」と表示される。	●DVDオーディオの中には、2チャンネルのダウンミックスを禁止しているものもあります。「音声メニュー」の「アナログOUT」を「マルチチャンネル」に設定してください。	44
	テレビの音声にくらべて、DVDビデオ再生中の音量が小さい。	●初期設定メニューの「音声メニュー」で、Dレンジコントロールの設定を「TVモード」にしてください(ダイナミックレンジTVモード)。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	44
映像	映像が出ない	●ビデオコードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しい入力を選び直してください。	8 15
	画面サイズがおかしい	●「TVタイプ」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	43
	映像が乱れる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか? 本機とテレビを直接接続してください。 ●接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していないときに、本機でプログレッシブモードを選んでいる可能性があります。 本機のスキャンモードを「インターレース」に設定してください。	8 14
再生	「リージョンコードエラー!」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。ディスクを取り換えてください。	表紙
	再生ができない	●ディスクを正しくセットし直してください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●本機は、VRフォーマットのプレイリスト再生はできません。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、数時間してからディスクを入れてください。 ●視聴制限が設定されていませんか? パレンタルロックの設定を変更してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	16 6、7 6、31 5 49 7
	「言語メニュー」の設定項目が切り換えられない	●ディスクの再生を止めて「言語メニュー」の設定をしてください。	42
	音声言語/音声/字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、音声ボタンと字幕ボタンの操作を受け付けていません。字幕言語設定で切り換えてください。	─ 21、28
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●「字幕言語」設定が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-Bリピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	─ 21、28 29
その他	ディスクが取り出せない	●チャイルドロックが設定されていませんか？ 本体表示窓に「LOCK」と表示されるときは、チャイルドロックが設定されています。本機の電源が「切」のとき、本体の[■(停止)]を押しながら本体の[▲(開/閉)]を押して、チャイルドロックを解除してください。	48
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源「切」にして電源プラグを接続し直してください。	─

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

53ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご用意ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDオーディオ/ビデオプレーヤー
型名	XV-A77
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津 S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)923-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0703

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、オーディオCD、スーパービデオCD、CD-R/RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/WMA/JPEG)、DVD-R(ビデオフォーマット)、DVD-RAM(VRフォーマット:カートリッジなしまたはカートリッジ付のType2、4)、DVD-RW(ビデオ/VRフォーマット)
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

映像出力端子

	出力レベル / インピーダンス
映像(コンポジット)	1.0V(p-p)/75Ω
S1映像	Y出力 ：1.0V(p-p)/75Ω C出力 ：0.286V(p-p)/75Ω
コンポーネント映像(コンポーネント、D1/D2)	Y出力 ：1.0V(p-p)/75Ω P_B/C_B、P_R/C_R出力 ：0.7V(p-p)/75Ω
水平解像度	500本以上

音声出力端子

アナログ出力	フロント/サラウンド :2Vrms/10kΩ センター :2Vrms/10kΩ サブウーハー :2Vrms/10kΩ
デジタル出力	PCM/ストリーム 光 ：−21dBm ～ −15dBm (ピーク) 同軸 :0.5V(p-p)/75Ω
その他の端子	AVコンピュリンク (×2)

オーディオ特性

周波数特性	CD ：2Hz～20kHz (サンプリング周波数 44.1kHz) DVD ：2Hz～22kHz (サンプリング周波数 48kHz) DVD ：2Hz～44kHz (サンプリング周波数 96kHz) DVD ：2Hz～88kHz (サンプリング周波数 192kHz)
ダイナミックレンジ	16ビット、100dB以上 20ビット/24ビット、110dB以上(JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.002% W.PEAK)以下(JEITA)
全高周波ひずみ率	0.0018% 16ビット(JEITA) 0.0012% 20ビット/24ビット(JEITA)

その他

電 源	AC 100V、50Hz/60Hz共用
消費電力	電源「入」時 14W 電源「切(待機)」時 2W
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	435mm×45mm×270.5mm
質 量	2.1kg

- JEITAは電子情報技術産業協会に定められた測定方法による数値です。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。
  外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用語解説

英数字

B.S.P.
DVDオーディオの静止画像には、オーディオ再生に合わせて自動的に表示されるもののほかに、ユーザーが任意選択できる画像が収録されている場合があります。このような画像をB.S.P.（Browsable Still Picture）と呼びます。

DTS(Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号（Y、C_B、C_R）と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。
映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD1/D2端子を備え、D1～D4端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタル収録されたDVDビデオで、大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができる機能です。

JPEG（Joint Photographic coding Experts Group）
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MLP(Meridian Lossless Packing)
DVDオーディオに採用されているマルチチャンネル音声圧縮方式の名称です。圧縮比率は約1/2の可逆データ圧縮方式で完全に元のデータに復元できる圧縮方式です。高音質での再生を可能にしています。

MP3
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。

MPEGオーディオ
サラウンド方式の一つで、音声データを圧縮し、最大7.1chまで対応しています。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ/ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PAL またはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDでは、メニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。また、高精細な静止画が収録されているビデオCDでは、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素（輝度:Y）と色（C）の要素にわけて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード（縦長の映像）の自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

VFP（ビデオファインプロセッサー）機能
映像の微妙なチューニング（調整）を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY/C ディレーなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フイルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

WMA（Windows（ウィンドウズ） Media®（メディア） Audio（オーディオ））
米国 Microsoft Corporation で開発された音声圧縮フォーマットです。MP3より小さいファイルサイズでMP3と同等の音質が実現できます。

3Dフォニック
従来の映像方式で、主にテレビで使われています。従来のステレオ2スピーカー（前面の2スピーカー）のみで、迫力あるデジタル立体音場の“ドルビーデジタル”を再生する当社独自の技術です。当社の立体音像定位技術「3D-PHONIC」を応用することにより、前面のステレオ2スピーカーのみでリスナーを自然に取り巻くような立体のサラウンド音場効果をつくりだし、リアスピーカー、センタースピーカーやアンプの追加、配置、配線、調整が不要なシンプルな構成で“ドルビーデジタル”サラウンドを再生します。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの「横:縦」の比は「4:3」、ワイドテレビ、およびHDテレビの「横:縦」の比は「16:9」の比率をもっています。

インターレーススキャン方式（飛び越し走査）
従来の映像方式で、主にテレビで使われています。

か

グループ
DVDオーディオの構成単位。一般的にDVDオーディオはいくつかの「グループ」で構成され、各グループ内には複数のトラックがあります。DVDビデオにおける「タイトル」、「チャプター」がそれぞれDVDオーディオにおける「グループ」、「トラック」に該当します。

コンポーネント
ビデオ信号方式の一つで、光の3原色の信号（G/B/R）や、それを基準により効率良く変換された映像信号（色差信号:Y/C_B/C_R）を差します。各々別の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

さ

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もとになるアナログ信号を、1秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数を指します。

次ページに続く

用語解説(つづき)

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を映しているとテレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがありますが、これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

た

タイトル
DVDビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1 番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり(チャプター)で区切った単位です。

トラック
CDやビデオCDなどの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つです。フロント、サラウンド(リア)計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のプロロジックデコーダーを通し再生時にはもとの4ch に戻します。2ch 記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大5.1ch まで対応しています。

は

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機ではこの方法で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4 :3 のテレビに映し出す方法の一つで横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

プログレッシブスキャン(順次走査)
DVDビデオなどで使われている映像方式で、インターレーススキャン方式よりも、ちらつきのない高品位の映像をお楽しみいただけます。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTSなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のことです。一般に、各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

ま

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。DVDビデオのディスクに設定されたリージョン番号と、DVD プレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式です。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比4:3のテレビに欠けることなく映し出す方法です。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。

索引

別売りのオプション品

- 光デジタルケーブル : XN-110SA（1m）
- 同軸デジタルコード : CN-D110E（1m）
- オーディオコード（RCAピンプラグコード） : CN-510E（1m）
- DVD用オーディオコード（5.1ch用） : CN-D210E（1m）
- ビデオコード（RCAピンプラグコード） : VX-110E（1m）
- Sビデオコード : VC-S110E（1m）
- DVD用ビデオコード : VX-D110E（1m）
- D端子コード（Dプラグ～Dプラグ） : VX-DS110（1m）
- 接続コード（ミニプラグ） : CN-120A（1.5m）
- DVDレンズクリーナー : CL-DVDL

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
55ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 東京 ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0703KTYMDWJSC